

共生社会に向けた地域における調査報告書

~アジア 15 か国におけるコロナ禍での新しい生活様式に関する
不便さ・良かったこと・ニーズ等~



公益財団法人 共用品推進機構
2022年3月

目次

1. 調査の背景と目的	3
2. 調査概要	3
2. 1 調査期間	3
2. 2 調査協力者	3
2. 3 調査方法	4
2. 4 調査体制	4
3. アンケート結果の概要	5
4. 回答	6
(1) 買い物	6
(2) 食事	16
(3) 公共交通機関	24
(4) 娯楽・スポーツ	31
(5) イベント	38
(6) 仕事・勉強	43
(7) 情報	51
(8) 検査・ワクチン接種	58
(9) その他	65
5. 回答から抽出した標準化に関連する項目	69
6. 新しい生活様式における製品・サービスに関する障害者・高齢者配慮指針（素案）	70
7. 質問票	71

1. 調査の背景と目的

新型コロナウイルス感染拡大により、日本はもとより世界各国に、新しい生活様式の導入が求められている。新しい生活様式とは、新型コロナウイルスを始めとする各種ウイルス等の感染及び感染拡大を防ぐための方法である。

障害者・高齢者への配慮指針に関しては、2001年に制定され、2014年に改訂されたISO/IECガイド71、JIS Z 8071(規格におけるアクセシビリティ配慮のための指針)の下に約40種類の関連規格が発行されているが、各種ウイルス等の感染及び感染拡大は想定されていない。そのため、3密にならないための表示、人との距離を空けるための表示、接触しないで操作・確認する方式、消毒液の場所や操作方法及び感染を避けるための移動方法などが、障害者・高齢者等にもできるようにするための方法を規格化できるかを調査するため、今回、アジア15カ国へ新しい生活様式において「コロナ禍での新しい生活様式に関する不便さ・ニーズ等」に関するアンケート調査を実施した。

2. 調査概要

2. 1 調査期間

2021年9月～12月

2. 2 調査協力者

※国名アルファベット順

No	国	該当する所属団体	協力者名	主な障害
1	アフガニスタン	アフガニスタン障害者アクセシビリティ連盟	アブドウル・カリック・ザザイ	肢体不自由
2	バングラデシュ	Bangladesh Protibandhi Kallyan Somity	アブドウス・サタール・デュラル	肢体不自由
3	ブルネイ	ブルネイ教育省特別支援教育課	ムスタザ・マイディン	視覚障害
4	カンボジア	プノンペン自立生活センター	サミス・メイ	肢体不自由
5	インド	公益信託 Biswa Gouri	サバニ・マリック	知的・精神・発達障害
6	インドネシア	インドネシア社会省社会リハビリテーション課	エヴァ・ラニ・カシム	肢体不自由
7	ラオス	ラオス自閉症協会	ヴィエンサム・インダヴォン	発達障害（自閉症）
8	マレーシア	マレーシア視覚障害者財団	シラトゥル・ラヒム・ビン・ダーマン	視覚障害
9	ミャンマー	ミャンマー自閉症協会	ネイ・ミョー・ナイン	発達障害（自閉症）
10	ネパール	ネパール身体障害者協会	キラン・シルパカール	肢体不自由

No	国	該当する所属団体	協力者名	主な障害
11	パキスタン	Danishkadah	ムハマド・アクラム	聴覚障害
12	フィリピン	人工知能(AI)エンジニア, ARIA リサーチ	マルクス・メレンシオ	視覚障害
13	シンガポール	レインボーセンター	ウン・レイナ	知的・精神・発達障害
14	タイ	タイろう者協会	カオクン・タンティピシクン	聴覚障害
15	ベトナム	コミュニティ開発活動インスティテュート	グエン・チ・ラン・アン	肢体不自由

(図表 1 : 調査回答協力者一覧)

2. 3 調査方法

共用品推進機構を含む 60 以上の加盟団体を持つ NPO 法人日本障害者協議会は、障害関連の情勢や実践の取り組みを中心とした内容で構成される雑誌「すべての人の社会」を発行している。その 2020 年 9 月号から 2021 年 11 月号の誌上で、アジアの 15 カ国を対象に「COVID-19 のインパクト」と題した新型コロナウイルスの影響に関する特集が掲載された。多様性に溢れるアジアであり、新型コロナ禍における調査を限られた時間で行うことは極めて難しい。障害種別、開発段階、政府・民間組織、人口規模、言語や宗教等の違いをできるかぎり考慮し、同じく 15 カ国の障害当事者・家族・専門家に深掘りして調査することとした。

なお、アジアの実情を反映させつつ日本との比較可能な形でデータを得るため、新しい生活様式における「コロナ禍での新しい生活様式に関する不便さ・ニーズ等」を 9 つに分けて調査を設計した。そこからアンケート調査を実施し、主な障害について体験あるいは見聞きしたことに焦点を置いた具体的なインプットを得た。一部不明な点は回答者に直接聞き取り確認を行い、データの不備を補足した。

2. 4 調査体制

No	名前	所属団体	役割
1	星川安之	公益財団法人共用品推進機構	研究責任者（統括）
2	佐野竜平	法政大学現代福祉学部	共同研究者（海外調査）
3	森川美和	公益財団法人共用品推進機構	共同研究者（編集）
4	田窪友和	公益財団法人共用品推進機構	共同研究者（回答整理）
5	木原慶子	公益財団法人共用品推進機構	共同研究者（回答整理）

(図表 2 : 調査体制図)

3. アンケート結果の概要

質問項目は、9つの場面（1. 買い物、2. 外食、3. 公共交通機関、4. 娯楽・スポーツ、5. イベント、6. 仕事・勉強、7. 情報取得、8. 検査・ワクチン接種、9. その他）に分け、それぞれ場面で、「不便を感じる」、「あって良かった」、「あったら良いモノやコト」等を聞いた。

回答は、次の9つの場面に整理・分類し、それぞれコロナ禍ならではのポイントと、通常時とコロナ禍に共通するポイントを抽出した。

（1）買い物、（2）食事、（3）公共交通機関、（4）娯楽・スポーツ、（5）イベント、（6）仕事・勉強、（7）情報、（8）検査・ワクチン接種、（9）その他

各コメントの前に付記した記号の意味は以下の通りである。

「・」 不便な点

「○」 便利な点、良かった点

「★」 希望する事項等

「■」 改善案と共に標準化の候補案

また、4.回答の回答の後に続くカッコは回答者の国名と属性の略である。

No	国名	主な障害	回答者属性
1	アフガニスタン	肢体不自由	(アフガニスタン・肢体)
2	バングラデシュ	肢体不自由	(バングラディッシュ・肢体)
3	ブルネイ	視覚障害	(ブルネイ・視覚)
4	カンボジア	肢体不自由	(カンボジア・肢体)
5	インド	知的・精神・発達障害	(インド・知的・精神・発達)
6	インドネシア	肢体不自由	(インドネシア・肢体)
7	ラオス	発達障害 (自閉症)	(ラオス・発達《自閉》)
8	マレーシア	視覚障害	(マレーシア・視覚)
9	ミャンマー	発達障害 (自閉症)	(ミャンマー・発達《自閉》)
10	ネパール	肢体不自由	(ネパール・肢体)
11	パキスタン	聴覚障害	(パキスタン・聴覚)
12	フィリピン	視覚障害	(フィリピン・視覚)
13	シンガポール	知的・精神・発達障害	(シンガポール・知的・精神・発達)
14	タイ	聴覚障害	(タイ・聴覚)
15	ベトナム	肢体不自由	(ベトナム・肢体)

(図表3：回答者属性の説明)

4. 回答

(1) 買い物

(1) 1 店舗

(1) 1-1 買い物をとりまく社会状況

○アフガニスタンのコロナ禍では、限られた保健医療、スティグマによる差別や貧困など多くの理由で、障害者は家に閉じこもっていました。(アフガニスタン・肢体)

・新型コロナ対策として行われた全国的なロックダウンなど政府の疾病軽減措置により、市民の行動はすべて統制され、購買意欲を低下させています。(バングラディッシュ・肢体)

(1) 1-2 店までのアクセス(交通等)

・ロックダウン時、ほぼすべての障害者は自宅に留まっていました。政府による公共交通機関の使用が許可されていないため、買い物に出かける障害者はほぼいません。(バングラディッシュ・肢体)

・緊急に交通手段が必要になってもそれを利用できない身体障害者が多く、あるいは自分のものですら使うことができないという制約に直面しています。(バングラディッシュ・肢体)

★買い物のための安全な交通機関。(バングラディッシュ・肢体)

(1) 1-3 店の種類

(1) 1-3-1 露天商

○政府の方針で大きなショッピングモールが閉鎖されたとき、露天商はありがたい存在でした。少なくとも日中は食べ物や果物が手に入るからです。(パキスタン・聴覚)

(1) 1-3-2 ショッピングモール・小売店

・大勢の人が集まる公共の場での買い物。(マレーシア・視覚)

・新型コロナ禍で政府はショッピングモールを封鎖しました。(パキスタン・聴覚)

○ショッピングモールや病院は、障害者が、アクセスしやすい場合に限り、喜ばしい場所です。(アフガニスタン・肢体)

○食料品や日用品の販売店を政府が閉鎖しなかったのはよかったです。障害者の約95%は家族の支援に頼って必需品を入手しています。(バングラディッシュ・肢体)

(1) 1-4 施設

(1) 1-4-1 動線

★発達障害者の移動にできるだけ支障をきたすことがないように、慎重に考慮した上で決定してほしいです。(シンガポール・知的・精神・発達)

★アクセス・移動しやすいショッピングセンターや施設。(バングラディッシュ・肢体)

・建物から建物、建物から電車やバスの駅への導線が非常に面倒になりました。(シンガポール・知的・精神・発達)

(1) 1-4-2 クールダウンルーム

★自らを制御できず怒り出してしまった場合に対応できるよう、ショッピングモール内に落ち着くことができる一室やスペースを設置すること。(シンガポール・知的・精神・発達)

(1) 1-4-3 清潔

★清潔な環境と規律。(バングラディッシュ・肢体)

(1) 1-4-4 表示・サイン

★家族・介助者が事前に移動経路を想定できるよう、モールのウェブ上に閉鎖されている出入口を表示すること。(シンガポール・知的・精神・発達)

(1) 1-5 時間帯

(1) 1-5-1 利用可能時間

★必要に応じて商店が24時間利用できること。(ミャンマー・発達《自閉》)

(1) 1-5-2 営業停止

- ・この間、多くのショッピングモールが完全に営業を停止したこと。(フィリピン・視覚)
- ・ロックダウンによりすべての店が閉まっていること。(ベトナム・肢体)

(1) 1-5-3 開店時間短縮

- ・デパートや市場の閉店について、その時々状況に応じて開店・閉店時間が変わるのでわからないこと。あるいは、閉店までの時間が短かったり、早すぎること。(タイ・聴覚)
- ・軍事政権下のミャンマーでは、薬局や商店の営業時間が数時間と短く、夜間や緊急時の買い出しが極めて困難でした。(ミャンマー・発達《自閉》)
- ・新型コロナが確認された当初、商店が一定時間しか開いておらず、その時間が過ぎると強制的に閉まりました。限られた開店時間内に皆買いに行くので、混雑により感染率が高くなっていたでしょう。(ネパール・肢体)

(1) 1-6 入店時の・チェック(セキュリティ・監視)

- ・ショッピングモールや商店の出入口の仕組みが変更され、人の出入りを監視するようになりました。自閉症など発達障害のある人は、これまでと違った新しいやり方となってしまいました。別途移動が必要になったり、混乱してしまうことがありました。(シンガポール・知的・精神・発達)
- ・特に不便なのは、ショッピングモールや商店で本人確認を行う必要があることです。(新型コロナの感染拡大当初、シンガポール政府は目的に応じて行動監視するシステムを導入しました。しかし、安定したインターネット接続と処理速度の速いスマートフォンが必要でした。)(シンガポール・知的・精神・発達)
- ・アプリで本人確認を行う目的を理解できず、長蛇の列で怒り出してしまう人がいます。一緒に移動する家族・介助者が苦痛を感じてしまうこともあります。(シンガポール・知的・精神・発達)

○シンガポール発の新たな取り組みの 1 つに、スキャンして簡単に商店やショッピングモールに入ることができるトークンの使用があります。(シンガポール・知的・精神・発達)

○市民から寄せられた意見をもとに、新バージョンのトークンが導入されました。電池寿命は 6 ヶ月以上となり、スキャナーの感度も非常に良くなりました。トークンをカバンやポケットに入れたままでも、専用の機械の前を通ると感知してくれます。これまでどおり慣れた形で移動したい人(自閉症者)や、スマホ内のアプリの使い方がわからない家族・介助者からすれば、とても便利な機能です。(シンガポール・知的・精神・発達)

★ショッピングモールの運営者には、デザイン思考のプロセスに基づいて出入口の封鎖を考えてほしいものです。(シンガポール・知的・精神・発達)

★自らの移動方法にこだわりがあったり、あるいは待つことが苦手な特別なニーズを持つ人のために、障害者対応の出入口の設置もありうるでしょう。新しい高品質のトークンを使えば、その特別レーンにスキャナーを置くだけで通れるようになるはずです。(シンガポール・知的・精神・発達)

★障害者対応の出入口を使用できるよう、発達障害者とその家族・介助者のトークンを識別できるようにすること(これは大いに可能だと思います)。(シンガポール・知的・精神・発達)

★待ち時間が少ないこと。(タイ・聴覚)

(1) 1-7 会計・支払い

(1) 1-7-1 感染予防

・新型コロナ感染の流行時に不便を感じたのは、感染源になりうる金銭のやり取りや受け渡しによる接触です。直接現金で支払うことを避けるようになり、クレジットカードや非接触型カードで決済するようになりました。しかし、カードが利用できない店舗があります。その場合、現金で支払いますが、お釣りを財布やポケットに入れる前にアルコールを吹きかけています。(カンボジア・肢体)

(1) 1-7-2 電子マネー・非接触

○代金引換ショッピングサービス(マレーシア・視覚)

○電子マネーも多くの人に親しまれるようになりました。電子マネーは感染抑制につながり、また決済が容易なため、多くのビジネス企業・団体が電子マネーを導入しました。(ネパール・肢体)

★電子マネーの使い勝手がもっと上がるのなら、それはぜひ期待したいところです。(ネパール・肢体)

★ビジネス企業の規模を問わず電子マネーを使えるようになれば、効率的であり、感染可能性を最小限に抑えることができるでしょう。(ネパール・肢体)

(1) 1-7-3 セルフレジ

・スキャナーの感度が悪く、バッグから取り出してスキャン機器に近づける必要がありました。(シンガポール・知的・精神・発達)

(1) 1-8 商品・入手

(1) 1-8-1 入手希望

○使い捨てマスク、フェイスシールド、消毒スプレー、ハンドソープ、フェイスティッシュ、洗面用具、持ち運びできる手指消毒液、手袋、水筒、食料など。(カンボジア・肢体)

★特に生活必需品や基本的な医療品、衛生キットについては、途切れることなく供給されることが好ましいです。（インド・知的・精神・発達）

★薬や食料品など日常的に必要なものが安く手に入ると、障害者はとても喜びます。（アフガニスタン・肢体）

★カンボジアでは新型コロナ感染が続いていて、今も自宅または検疫所などで隔離されたり、治療を受ける人がたくさんいます。このような状況下で個人用またはオフィス用であればいいと思うのは以下のとおりです：マスク、フェイスシールド、手指消毒液、アルコール、ウェットティッシュ、スプレー、ペーパータオル、ハンドソープ、温度計、ティッシュ、浄水器、自宅やオフィスで運動するためのフィットネス機器、プリンタ、ウェブカメラ付きノートパソコン、インターネットサービスなど。（カンボジア・肢体）

（１） １－８－２ 入手困難・品不足

・マスク、手指消毒液、オキシメーター、デジタル体温計、蒸気吸入器、アセトアミノフェンの入った風邪薬といった基本的な医薬品について、市場で一時期入手が困難でした。（インド・知的・精神・発達）

・酸素ボンベや新型コロナ関連薬品の不足は深刻で、パニックになりました。（インド・知的・精神・発達）

・ロックダウン時、食料品店で食材が不足し調達できないときは非常に不便でした。（インド・知的・精神・発達）

・サプライチェーンが寸断され、責任者は日用品が定期的に入手できない状態であると話していました。（インド・知的・精神・発達）

・商品の数量が限られているため、生活必需品であっても手に入れることができませんでした。（ネパール・肢体）

（１） １－８－３ 入手困難・高価格

・他人の手を借りて物品を購入しようにも余分な費用がかかります。ほしい品質や数を選ぶとしても以前と同じ水準を維持することができず、障害者は苦しんでいます。（バングラディッシュ・肢体）

・必需品である食料を入手するお金を持ち合わせていない多くの障害者がいます。（バングラディッシュ・肢体）

・生活必需品は高価になりがちで、ほとんど手に入らないという状況でした。（ネパール・肢体）

・マスク、手指消毒剤、手袋など、当初は価格が急上昇していました。（バングラディッシュ・肢体）

・物価がとにかく高いです。（ミャンマー・発達《自閉》）

（１） １－８－４ 入手困難・アクセス

・特に障害者は購入機会そのものが非常に少なく、買い物をしようにもアクセスしやすいとは言えません。（ネパール・肢体）

（１） １－８－５ 品質・アクセシビリティ

・産業界での標準化は進んでいません。（アフガニスタン・肢体）

・アフガニスタンは中国、パキスタン、イランとの貿易が盛んで、産業界は海外から製品を輸入しています。しかし、その品質は日本や他の先進国のような一定水準に達していません。アフガニスタンの品質認証の機関や保健省による審査の際、商品やサービスを取り扱う業者が賄賂を支払うから

です。標準な品質に達しているように見せかけるなど、関連政府部門や商工会議所の腐敗が原因となっています。（アフガニスタン・肢体）

（１） １－９ コミュニケーション・支援

（１） １－９－１ 全般

★特別な支援を必要とする発達障害者がいる場合の対応についてスタッフが訓練を受けること。（シンガポール・知的・精神・発達）

★障害者に理解のあるショッピングセンターのスタッフの姿勢。（バングラディッシュ・肢体）

（１） １－９－２ 聴覚障害

・テキストを見せるかボディランゲージで対応するしかなく、コミュニケーションが取りにくかった。（聴覚・パキスタン）

★手話を知っている店員。（バングラディッシュ・肢体）

（１） １－９－３ 身体障害

★身体障害のある当事者の１人として最善の方法と思うのは、医師、病院、商店街、地域の人々との対面でのやり取りやコミュニケーションです。しかし、実際の建造物の物理的なアクセス環境は、障害者が対応できる範囲を超えた障壁となっています。もしアクセスしやすい病院や薬局、ショッピングモールがあれば、障害者にとっては好ましいでしょう。車椅子、義肢、装具を必要としている障害者はたくさんいます。彼らが必要なサービスを受けることができるのであれば、それは状況を改善するでしょう。（アフガニスタン・肢体）

（１） １－９－４ 発達障害

・普段とは違った生活習慣となり、発達障害者からすればこうしたアプリによる本人確認を行うことは困難でした。また、発達障害者や年配の家族・介助者は、アプリを利用するにもさまざまな手順を必要とするため、操作方法を理解できませんでした。（シンガポール・知的・精神・発達）

★特別な支援を必要とする発達障害者がいる場合の対応についてスタッフが訓練を受けること。（シンガポール・知的・精神・発達）

★手話からテキスト、音声からテキストに変換できるアプリ。（タイ・聴覚）

（１） １－１０ 商品

（１） １－１０－１ 商品受け取り

・状況次第では、配送はなく店舗での受け取りのみということがあります。視覚障害者にとって不便でしょう。（ブルネイ・視覚）

（１） １－１０－２ 購入後の商品

・購入した製品はすべて清潔に保つ必要があり、それを守らないとどうなるかという恐怖が常にありました。（インド・知的・精神・発達）

(1) 1-1-1 支給・支援

○政府、民間団体、NGO からの支給される現金および現物。(マレーシア・視覚)

★政府からの人的支援。(バングラディッシュ・肢体)

★政府からの経済的支援(毎日5ドル)。(バングラディッシュ・肢体)

(1) 1-1-2 啓発活動・ガイダンス

★政府による感染事情に関する啓発活動とガイダンス。(バングラディッシュ・肢体)

(1) 2 ネット

(1) 2-1 環境

- ・視覚障害者が利用する読み上げアプリが機能しないことがあります。(ブルネイ・視覚)
- ・アクセスしにくいオンラインショッピングの仕組み。(マレーシア・視覚)
- ・欲しいものを探すのに時間がかかりすぎる。(カンボジア・肢体)
- ・コミュニティの人たちとのやり取りが減ること。(カンボジア・肢体)
- ・オンラインが必ずしもよいということではありません。オンライン配送は非常に遅く、ウェブに表示されている製品と異なることも多いです。その結果、オンラインサービスに対して疑念を抱く人が増えました。(ネパール・肢体)

○オンラインで購入できること。(マレーシア・視覚)

○宅配食品、(新型コロナ対策対応)全工程を網羅した清掃サービス、オンラインショッピング。(タイ・聴覚)

○何とか生活を維持できる環境や緊急の支援物資を入手できたときに助かったのはもちろんですが、GenieApp (by Swiggy) が提供するサービスは、ロックダウン中や隔離されている時に非常に役立ちました。家族の誰かが隔離されていて生活を送る際に不可欠な物資がないとき、食料や緊急備品を入手するのに役立ちました。他にも、多くの商品がオンラインや宅配に移行したことが追い風となりました。例えば、近所の食料品店では、WhatsApp で注文を受け、商品を配送したり、受け取りの準備をするようになりました。オンライン上での支払いが可能になったことで、新型コロナ対応の様式が進みました。安定したインターネット利用、電話回線や電気供給により、新型コロナと向き合えるようになりました。外出制限のある家庭に対し、多くのボランティア団体が支援の手を差し伸べてくれました。バケツ付きのスピンモップや掃除機は大いに役立ちました。スマートフォンや他のデジタル端末およびガジェットは、外部と連絡を取るのにとっても便利でした。(インド・知的・精神・発達)

○オンラインサービスの利用することで、経済的に自立している障害者は貧困状態にある障害者よりも暮らしやすい生活を維持しています。(バングラディッシュ・肢体)

○新型コロナが流行したとき、あつてよかったのはネット配達です。Bhat Bhateni Super Market や Big Mart など多くのデパートがオンライン配送を始めました。その後、中小の商店もこの流れに続いたので、混雑は緩和され、感染の可能性をできるだけ抑えることになりました。私たち障害者を含む顧客が、生活必需品を手に入れることにつながりました。(ネパール・肢体)

★ロックダウンになった際、あればいいのと思う製品やサービスがたくさんあります。詳細な説明と安全な支払い方法を完備した上で、大規模商店やデパートがオンラインで商品・サービスを自社のホームページを利用できるようにすれば、非常に有益だと思います。配送サービスもセットで提供されれば、地域社会にとっても有益でしょう。(ブルネイ・視覚)

★オンラインショッピングの利用。(ベトナム・肢体)

★Swiggy をはじめとするオンライン宅配アプリ。(インド・知的・精神・発達)

★オンラインサービス、オンラインショッピング（インド・知的・精神・発達）

（１）２－２ アクセシビリティ

・オンラインショッピングは、スクリーンリーダーを利用する人からすれば完全にアクセスできるわけではありません。商品の基本的な説明に留まり、包括的で詳細な文章による説明は画像として再現されているのみのことがあります。（ブルネイ・視覚）

・サイズ、色、肌触りや品質など、何を手にしようとしているか正確には分からないこと。（カンボジア・肢体）

★アクセスしやすいオンラインショッピングの仕組み。（マレーシア・視覚）

★聴覚障害者に配慮し、コミュニケーションの代替手段を提供する利用しやすいオンラインのショッピングシステムがあればよいと思います。注文フォームに障害を記入する欄があれば、聴覚障害の有無がわかり、代替手段を使うようにスタッフに指示することができます。テキストメッセージや電子メールによるコミュニケーションでも構いません。配達希望時間や受け取り場所など、詳細で正確な情報を事前に把握することができます。（パキスタン・聴覚）

★オンラインショッピングは、例えば災害時にはありがたいものですが、それはあくまで聴覚障害者が完全かつ平等に利用できる場合に限ります。（パキスタン・聴覚）

（１）２－３ （取り扱い）商品

・商品の在庫がない場合や予約商品としてしか取り扱わないこともあります。（ブルネイ・視覚）

（１）２－４ （取り扱い）商品価格

・オンラインショッピングの場合、いろいろな店で複数の注文をしても個別に送料を加算されること。または、商品数に応じて送料が加算され、収入不足になりかねないこと。（タイ・聴覚）

（１）２－５ 配送

・配送の問題や遅れ。（カンボジア・肢体）

・オンラインによるビジネスの継続は許可しました。これはこれでよかったのですが、聴覚障害者である私は、彼らの配送システムが利用できないため、困難に直面しました。注文した商品を運んでくる人は、いつも音声で家を探したり、配達時間を知らせるのです。しかし、聴覚に障害のある私は、音声通話に対応できず、実際注文した商品を１つ逃しました。（パキスタン・聴覚）

○ランナーとも呼ばれる個人宅配サービスがあり、サービス提供にかかる費用はそこまで高額ではありません。ネット注文による品を受け取ったり届けたり、家から出たくない消費者のために食料品を配送するサービスです。（ブルネイ・視覚）

○DHL や FedEx などの国際宅配便も便利です。（ブルネイ・視覚）

○配達サービスが利用可能となったこと。（ミャンマー・発達《自閉》）

★食料や雑貨がすべて宅配されること。（マレーシア・視覚）

★送料無料サービス（タイ・聴覚）

（１）２－６ セキュリティ

・詐欺のリスク：クレジットカードの不正利用、詐欺やハッキングなど。（カンボジア・肢体）

★信頼できるオンラインショッピング。（バングラディッシュ・肢体）

★信頼でき効率的で迅速なオンライン配送があれば、それは嬉しいです。（ネパール・肢体）

（１）２－７ 返品

・返品が面倒なこと。（カンボジア・肢体）

（１）２－８ サポート

・購入時にサポートがないこと：商品やサービスについての説明を試みているオンライン店舗もありますが、そのブランドや商品に詳しくないかぎりよく分かりません。（カンボジア・肢体）

（１）２－９ 支払い

・今回、オンライン配送とはいえ電子マネーを利用できないサービスがありました。（ネパール・肢体）
○あってよかったと思うサービスについて。食料や日常用品の配達・配送サービスは便利ですが、あくまで個人の受け止め方次第。オンラインショッピングやその他電子商取引、オンライン上の決済やデジタル支払いの仕組み（銀行送金、電子ウォレット、モバイル決済など）、Eラーニング、バーチャル/オンラインミーティング、オンラインでの集い、友人とのチャットなど。決済については、同僚や私は、直接現金で支払う代わりに、クレジットカードや非接触型カードを使用するようになりました。また、銀行アプリを利用して送金する機会が増えました。（カンボジア・肢体）

(1) 3 まとめ

ここでは**買い物**に特化した事項を記載する。■印は、改善案と共に標準化の候補案を示している。

【情報】

■**買い物に関する情報（店舗の営業時間、アクセス、感染対策等）が、障害のある人たちに伝わる形式、頻度、状況であること。**

- ・障害のある人の買い物は、街がロックダウンされている・いないで異なる。
- ・街がロックダウンされている時、障害のある人は買い物を周りの人に頼むこと・人が多い。
- ・感染が広がっていても、街がロックダウンされていない時には、交通機関、店までの経路が障害のある人にとって、障害のない人以上にアクセス困難になっていた。
- ・感染が広がっていても、街がロックダウンされていない時には、店の営業時間が短縮され、そのため買い物をする時間が集中するため、混雑し、感染の心配が出てきていた。

【入店時】

■**入店時の、「本人確認」、「体温確認」、「マスク装着確認」などの各種確認方法の標準化**

- ・国、地域、店舗によっても異なる方法で実施されているが、使用する機器が、障害のある人にも使えるようなモノを使用する。
- ・確認作業を行う方法を、障害のある人にも分かるように説明書等を用意する。
- ・確認作業を行う場合、説明書等では、分からない人がいた場合、人的に説明する。
- ・人的に説明を行う場合、障害のある人に分かるように説明する。

【商品】

■**生活必需品・感染予防関連商品は、障害のある人も入手できるようにする。**

- ・生活必需品は食料等、感染予防関連商品はマスク、消毒液等をさす。

■**商品は、感染予防のため清潔さを保つ。**

- ・陳列している時に加え、購入するレジの場面、購入してから自宅でのことも含まれる。

【人的対応】

■**コロナ禍での、接客（声掛け、説明、誘導等）を、店員は把握しておく。**

- ・通常とは異なり、人と人との距離をおく、マスクの着用などでの状況での接客方法を、学ぶことができるような仕組みにしておく。

【会計】

■**キャッシュレス、現金授受、どちらの場合も、感染予防を考慮する。**

- ・おつりを現金で受け取った後、お金を消毒している人がいる。
- ・キャッシュレスで支払う場合、その方法の使用が困難な人がいる。

【ネット販売】

■**カタログ、注文、受取りが、障害のある人が使用できるように考慮する。**

- ・ロックダウン時、店舗の営業時間が短い時に、ネット販売を利用している人が多い。

- ・ネット販売を利用できない人の中には、操作が困難、金銭的に余裕がない人もいる。
- ・聴覚に障害のある人の中には、配達員が来たことが分からない人もいる。

(2) 食事

(2) 1 食事（外食）

(2) 1-1 食事（外食）の利用環境

(2) 1-1-1 ワクチン接種、利用制限等の状況

- ・新型コロナが流行して以来、外食はできていません。（ブルネイ・視覚）
- ・多くの飲食店でデリバリーサービスを提供することができず、食事を楽しむ機会はなくなりました。（ネパール・肢体）
- ・2021年9月より、ワクチン接種者のみが飲食店、カフェ、冷房の効いた食事処を利用できるようになったこと。（ワクチン接種者というのは、2回目のワクチン接種を受けてから14日経過した人、または新型コロナから回復した人を指す。）（シンガポール・知的・精神・発達）
- ・飲食店や冷暖房完備の食事処を利用できる人数は、感染状況によって常に変化します。5人のときもあれば、2人のときもありえます。こうなると、自閉症者からすれば、なぜ大好きな家族と一緒に座れないのか、なぜ日常生活が変わるのか、理解できない可能性があります。（シンガポール・知的・精神・発達）
- ・自閉症者によっては、食事をする際にさらに家族・介助者を必要な場合があり、2人という人数制限では困ってしまうこととなります。（シンガポール・知的・精神・発達）
- ・対策が厳しくて行けないところがあること。（タイ・聴覚）
- ・営業している飲食店がないこと。（ベトナム・肢体）
- ・市場も他の商店もすべて閉鎖されました。自宅待機となり、飲食店での食事は事実上制限されました。食物をより好みすることはできず、あるものを食するしかありませんでした。自閉症者にとっては、食習慣そのものが制限されました。（ミャンマー・発達《自閉》）
- ・飲食店での食事は禁止されました。当初は政府の命令であらゆる飲食店や喫茶店が閉鎖となりました。私たちが「ろう者のための運転免許証」運動を行っていたとき、各地の喫茶店で何度もミーティングをしたのを覚えています。新型コロナ禍で喫茶店はすべて閉鎖され、大変不便な思いをしました。私たちは長い間、喫茶店で聴覚障害者の仲間と活動計画を立てたり、意見交換をしてきたのです。その後、飲食店が屋外で利用可能になったとき、マスクがコミュニケーションの障壁となり、最も不都合なこととなりました。（パキスタン・聴覚）
- ・ロックダウンの間、屋内の飲食スペースを利用できないのは不便でした。（インド・知的・精神・発達）
- ・ロックダウン後には、衛生面への不安から外食できなくなりました。特に閉鎖された空間における食事です。高級な料理提供は禁じられました。飲食店のスタッフは地元に戻ってしまい、通常のメニューすら提供できなくなりました。限られたメニューのみの提供でした。開放感のある場所を探そうにも、見当たりませんでした。（インド・知的・精神・発達）
- ・これまで一部の障害者（5%）は、自助努力によって、障害のない人と同じように飲食に出かけていました。しかし、新型コロナにより、車椅子利用者、全盲および重度の身体障害者は家に留まることになり、外出できませんでした。（バングラディッシュ・肢体）
- ・新型コロナが流行したとき、すべての飲食店は閉店を余儀なくされました。飲食店は人が集まりやすく、そこからウイルス感染する可能性があります。ネパールでは外食に行く人は多くありません。外食する経済的余裕がないのです。（ネパール・肢体）
- 一部の軽度・中等度の障害者は、政府の規制を尊重しつつ外食してします。（バングラディッシュ・肢体）
- 外出することなく、自宅で料理して食事をする障害者が大多数です。（バングラディッシュ・肢体）

○義足で歩いている軽度の障害者など、外食を楽しんでいる障害者もいます。(バングラディッシュ・肢体)

★家族で外食ができるところ。(タイ・聴覚)

(2) 1-1-2 アクセシビリティ

・大多数の障害者、特に身体障害者は、国内にあるほとんどすべての飲食店や宿泊所を利用できません。衛生設備を含めたアクセシビリティが確保されていないのです。(バングラディッシュ・肢体)

・大多数の障害者、特に身体障害者は、国内にあるほとんどすべての飲食店や宿泊所を利用できません。出入口の設計からして不適切にデザインされています。(バングラディッシュ・肢体)

★アクセスがよく店員がフレンドリーなど障害者に優しい店。(バングラディッシュ・肢体)

★飲食店に行く際の安全な交通機関。(バングラディッシュ・肢体)

★出入口が利用しやすく、テーブルや座席の配置が適切な店。(バングラディッシュ・肢体)

★また、たくさんの人が厳しい状況に置かれた時期だったので、飲食店が割引サービスを提供できていたなら、効果的だったでしょう。(ネパール・肢体)

(2) 1-1-3 感染対策(検温・消毒・距離)

・長蛇の列に並ばないとならないこと。(マレーシア・視覚)

・混み合っている冷房の効いた飲食店、新型コロナのリスクがあるため。(タイ・聴覚)

・衛生対策をしていない客。(タイ・聴覚)

・新型コロナの影響を考えると、食品の安全性や飲食店の機器の使用について懸念があります。(バングラディッシュ・肢体)

・飲食店に入る前に体温チェックを受け、デジタルまたは手動で登録すること。(マレーシア・視覚)

○客が到着すると、体温の計測や手指消毒液の提供に加えて、到着時にサポートに来てくれる飲食店もあり、喜ばれています。(バングラディッシュ・肢体)

★飲食店の備品や食品が細菌に感染していないこと。(バングラディッシュ・肢体)

★新型コロナ対策が十分になされた上で、外食できる場所があればいいなと思っています。新鮮な野菜や果物、お菓子やその他食料品が誰に対しても定期的かつ安定的に提供されることが期待されます。(インド・知的・精神・発達)

★清潔な環境と規律のある場所。(バングラディッシュ・肢体)

★清潔でクリーンな公衆衛生設備。(バングラディッシュ・肢体)

(2) 1-1-4 感染対策(マスク)

・マスクをしていると身振り手振りでしかコミュニケーションが取れない。(タイ・聴覚)

・ワクチン接種済みであることから飲食中以外であってもマスクをしない人。(タイ・聴覚)

(2) 1-2 営業時間・利用時間

・ほぼ全ての飲食店が休業または営業時間短縮となったこと。(マレーシア・視覚)

・外出禁止令のため、利用時間が限られていること。(タイ・聴覚)

・オープンしているかどうかわからない飲食店。(タイ・聴覚)

・予約金を払って飲食店に行っても、予告なしに閉店していることがあり、不満が募っています。(バングラディッシュ・肢体)

○お気に入りの飲食店やカフェが今も営業しているのはありがたいです。(ブルネイ・視覚)

○政府が飲食店を強制的に閉鎖しなかったのは良かったです。(バングラディッシュ・肢体)

(2) 1-3 情報

・所在地が分かりにくい飲食店。(タイ・聴覚)

・実際よりも見栄えがよい写真を提示する飲食店。(タイ・聴覚)

○法律が変わりゆく中で、最新情報をわかりやすく簡潔に提供すべく、シンガポール人の個人が立ち上げたウェブ <https://safedistancing.sg/> があること。規制が場所や目的別に整理されて提示されている。ホーカー、飲食店、職場、タクシー、礼拝(教会、寺院、モスク)、ホテル、美容院、イベント(MICE)、病院、葬儀、結婚式、映画館、スポーツ競技場などです。関心毎にクリックし、規制を確認することができます。シンガポール政府のウェブ www.moh.gov.sg に比べ、より使いやすくなっています。家族・介助者や識字能力のある障害者にも便利なサイトです。(シンガポール・知的・精神・発達)

○安全なサービス、清潔な施設や設備、正しい新型コロナ情報を提供しようという飲食店が大半です。(バングラディッシュ・肢体)

(2) 1-4 座席・個室

★障害の特性を考慮し、私的空間が確保された形で食事ができる、斬新な飲食店があればいいと思います。騒音や他のお客さんの声、飲食店での一般的な喧騒が苦手な発達障害児や家族・介助者にとって、落ち着きとリラックスをもたらす体験になるはずです。私的な空間があれば、自閉症その他発達障害のある人がパニックになっても自分を取り戻す時間を確保できますし、変な目で見つめられずに落ち着けるでしょう。(シンガポールには個室やブースを提供する飲食店がこれまでもありましたが、非常に高価になりがちです。新型コロナの流行で、大人数の食事を避けること、感染の広がりを極力避け、衛生的な環境を維持することが求められるようになりました。)(シンガポール・知的・精神・発達)

★ノイズキャンセリング機能付きの快適なスペースで食事することが一般的になったら、どれほどよきこばしいことでしょう。(グループやカップル客が帰るたびに、消毒をし、次に備えればいいのです。このような食事体験は、発達障害者の家族のみならず、精神的ストレスを抱えて静かにくつろぎたい人、眠っている赤ちゃんを連れた家族、多忙な中で食事しつつ携帯電話を見る代わりに質の高いやり取りをしたい人、こうした人たちに歓迎されるのではないのでしょうか。)(シンガポール・知的・精神・発達)

★新型コロナに十分配慮した上で、密室ではない換気のよい場所で好きな物を焼いて食べるのもよいですね。人数制限をかけた上で予約できる飲食店があるのなら、食事中に人が多く密になって不安になることもなく、安心して外食を計画できます。(インド・知的・精神・発達)

(2) 1-5 メニュー・注文

・生鮮食品(インドネシア・肢体)

○デジタルメニューの使い方がわからない場合、ほとんどの店で手に取って見ることができるメニューが用意されている。口頭で飲食を注文することもできます。(シンガポール・知的・精神・発達)

○バーコードを利用したメニューカードが用意されており、不必要な接触を避けることができました。(インド・知的・精神・発達)

★家庭料理(マレーシア・視覚)

★飲食店はもっと健康面によいメニューの選択肢を増やすべきでしょう。自宅で仕事をしていると、移動が制限されてしまい、十分な運動ができません。味に妥協することなく、同時にカロリー摂取量を増やさないような選択肢を用意すべきです。（インド・知的・精神・発達）

（２） １－６ 店員

★非接触型サービス（タイ・聴覚）

（２） １－７ 食器

★障害の特性に合わせた食器を利用できれば、重度の身体障害者が快適に食事を取ることができるでしょう。カンボジアでは、重度の障害を持つ人のニーズに適応させた食器はそれほど利用されておらず、一般的に入手できるもので代用しています。障害に応じた使いやすい食器があれば、重度身体障害者は食事の時間をより楽しく、より自立した気持ちで過ごすことができるのではないのでしょうか。（カンボジア・肢体）

（２） １－８ 支払い

○代金引換サービス（マレーシア・視覚）

★代金引換サービスの普及。（マレーシア・視覚）

（２） ２ 食事（テイクアウト）の環境（感染対策）

・仕事が忙殺されているときには、スタッフも家族も時間を節約したいです。そこで、スーパーや市場への買い出しから調理し食後の皿洗いをする代わりに、飲食店で出来合いの惣菜を買ったり、その場で食事を取ってしまうことがあります。しかし、地元の小さな飲食店では不便なこともあります。新型コロナの感染予防策が軽視されており、マスクやフェイスシールドを着用しなかったり、ソーシャルディスタンスも十分でなく、食卓テーブルや椅子をアルコールで除菌していません。（カンボジア・肢体）

・店内での食事は禁止となり、テイクアウトのみ可能なこと。（マレーシア・視覚）

・新型コロナ対応のため持ち帰り対応のみとなった飲食店。（タイ・聴覚）

○道路脇の露天商はありがたい存在で、何でも買って家に持ち帰ることができました。（パキスタン・聴覚）

○持ち帰り用窓口があることで、食事を家に持って帰りやすくなった。（インド・知的・精神・発達）

（２） ３ 食事（デリバリー・配達）の利用状況

・食事のデリバリーサービスを行っている店でも、時間がかかったり、厳しいロックダウンや一部厳戒態勢により輸送手段も限られました。多くの人、特に自ら料理できない障害者は不便を強いられました。

（ネパール・肢体）

・すべての飲食店やカフェが配達サービスを提供できるわけではありません。ドーナツ屋さんやケーキ屋さんなどの小さなお店は、自社で配達サービスを持つ余裕がなく、地元のランナーたちに頼らざるを得ません。（ブルネイ・視覚）

・オンライン通販の場合、配送に時間がかかることが多く、商品もホームページと異なることがありました。オンラインを通じた宅配サービスは新しい仕組みなので、実際にはそこまで普及していませんでした。（ネパール・肢体）

・さらには、スマホを利用できない人もいましたし、ウェブがそもそもユニバーサルデザイン仕様ではありません。障害者がアクセスできるものではありませんでした。（ネパール・肢体）

・私が不便だと思うのは、飲食店やカフェの中には、配達サービスに最低注文数を明記したり、価格に上限を設けているところがある点です。経済的に余裕がない人にとっては、コスト高になりかねません。（ブルネイ・視覚）

○「電話で事前注文、後から持ち帰り」が多くの飲食店で利用できるようになったのは良かったです。障害者と一緒について、短時間で食事を取りに行かなければならない家族・介助者にとっては便利なサービスです。（シンガポール・知的・精神・発達）

○インターネットで注文して自宅で食事を取る障害者もいますが、このスタイルはあくまで経済的に自立していて、コストが問題にならない障害者が行っています。（バングラディッシュ・肢体）

○宅配サービスを取り入れて、誰もが利用しやすくなっているのは喜ばしいことです。完璧とは言えませんが便利であり、好きなアイズドリンクを手に入れるためだけに、外出しなくて済むというのは安心感があります。（ブルネイ・視覚）

○飲食店やカフェによる営業は注文を受けて持ち帰る形式で、場合によっては配達もします。（ブルネイ・視覚）

○Grab フード、Panda フード、LINE マンなどの食品配達サービスアプリ。（タイ・聴覚）

○食品を配達してくれるところがある。（ベトナム・肢体）

○当初デリバリーサービスを行っている飲食店は少なく、ウイルス蔓延の恐れから閉鎖されたところもありました。しかし、徐々にデリバリーで料理を提供する飲食店が増えていきました。また、客・時間を限定した上で店内で料理を提供するサービスも始まりました。様々なアプリを利用することで、顧客のニーズに照らした多様で新しいサービスを受けることができるようになりました。（ネパール・肢体）

○オンラインによるやり取り。（インドネシア・肢体）

○オンライン注文サービス（マレーシア・視覚）

○オンライン上で注文すると受け取ることができるキャンペーン。（タイ・聴覚）

★現在利用できているもので十分です。新型コロナウイルス感染が落ち着いた後も、宅配サービスはずっと続けてほしいです。私のような移動制限のある障害者からすれば、今後も追い風となるでしょう。障害者が外出するのではなく、製品やサービスが配達されてくることで、全員が平等な立場でいられるのですから。（ブルネイ・視覚）

★手話で飲食物の宅配を注文できるアプリ。（タイ・聴覚）

★オンライン配送がより早く確実に行われるのであれば、もっと満足できたでしょう。（ネパール・肢体）

★アクセスしやすいオンラインショッピング用アプリ。（マレーシア・視覚）

★オンラインショップ（ベトナム・肢体）

★見やすいメニューを持ったオンライン販売があれば、自閉症者にはありがたいものになるでしょう。（ミャンマー・発達《自閉》）

★自宅にしながら安全で信頼のおけるオンラインでの食品配達サービス。（バングラディッシュ・肢体）

★パック入り冷凍食品（インドネシア・肢体）

（2）4 食事（公的サービス・支援）

・迅速かつ長続きする形で提供される配食サービスが足りないこと。そのための適切な設備、ツール、労働力その他リソースが不足していること。（フィリピン・視覚）

○パーソナルアシスタントサービスは重要です。私が所属する「プノンペン自立生活センター(PPCIL)」では、2009年から重度障害者の自立生活を支援するパーソナルアシスタントサービスを提供しています。重度障害者が自立した生活を送るために必要不可欠なのがパーソナルアシスタントです。新型コロナの流行に伴い、重度障害者を支援するパーソナルアシスタントは非常に重要な存在となっています。特に調理、食事、排泄、入浴、着替え、移動、事務作業などの日常生活においてです。(カンボジア・肢体)

○個人や地域、団体の有志が名乗りを上げ、新型コロナ感染者や付添者に無料で食事を提供してくれたことは、非常に心強いことでした。(インド・知的・精神・発達)

○支援は、医療従事者やマンション・ビルの警備員など、長期間家に帰れない第一線で働く人たちにも向けられました。経済的に余裕のない層の人たちのために食を手配する人も増えました。(インド・知的・精神・発達)

★新型コロナ禍でパーソナルアシスタントが不足しがちです。一方で、重度身体障害者を支援するパーソナルアシスタントとして働くことに興味を持つ人が増えています。パーソナルアシスタントサービスの利用が広がれば、重度身体障害者は幸せでより自立した気持ちになれるでしょう。(カンボジア・肢体)

★政府からの経済的支援(毎日5ドル)。(バングラディッシュ・肢体)

(2) 5 まとめ

ここでは**食事**に特化した事項を記載する。■印は、改善案と共に標準化の候補案を示している。

【情報】

■**食事（外食）に関する情報（店舗の営業時間、アクセス、感染対策、人数制限、混雑度等）が、障害のある人たちに伝わる形式、頻度、状況であること。**

- ・緊急事態宣言、ロックダウンの時には、どの国・地域も、食堂・レストランは閉まっていた。
- ・緊急事態宣言が緩和されるとワクチン接種者のみ入店可能という店もあった。
- ・緊急事態宣言が緩和されると、人数制限が設ける店が多かった。
- ・感染対策がどのように行なわれているかが店によって異なる。
- ・感染拡大時は、限られたメニューのみの提供の店があった。
- ・アクセシビリティが確保されている店とされていない店がある。
- ・食堂・レストランまでの経路がアクセシブルでないところがある。
- ・障害によっては、店の対策が、厳しく利用できない場合がある。

【入店時】

■**入店時の、「本人確認」、「体温確認」、「マスク装着確認」などの各種確認方法の標準化**

■**入店時、混みあって、長蛇の列にならない及びその列が密にならない等並び方の標準化**

- ・体温チェック、消毒方法が、店によって異なっている。
- ・人的なサポートがある店とない店がある。
- ・清潔な環境と規律のある場所が望まれている。

【人的対応】注文・支払い デジタル・人的

■**誘導、注文、食事運び、支払い、緊急等の場面で、障害のある人への説明が、感染予防を行いながら、伝わる方法の標準化**

- ・マスクをしていると身振り手振りでしかコミュニケーションが取れない。
- ・中には、マスクをしていない人がいる。
- ・非接触の対応を希望している人がいる。
- ・電子機器での注文等のコミュニケーションが困難な人がいる。

【デジタル機器】メニュー・支払いの場面

■**注文・支払いなどで使用するデジタル機器のアクセシビリティに関する標準化**

■**注文・支払いなどで使用するデジタル機器の使用法のアクセシビリティ化への標準化**

■**注文・支払いなどで使用するデジタル機器が、使用できない障害のある人へのサポートに関する標準化**

- ・デジタル機器は、非接触のため感染予防となり使用を歓迎する障害のある人がいる。
- ・デジタル機器の使い方がわからない障害のある人がいる。
- ・障害のある人が使えないデジタル機器がある。

【テイクアウト】

■テイクアウトに関する情報（営業時間、アクセス、感染対策、人数制限、混雑度等）が、障害のある人たちに伝わる形式、頻度、状況であること。

■入店時の、「本人確認」、「体温確認」、「マスク装着確認」などの各種確認方法の標準化

■入店時、混みあって、長蛇の列にならない及びその列が密にならない等並び方の標準化

■誘導、注文、食事運び、支払い、緊急等の場面で、障害のある人への説明が、感染予防を行いながら、伝わる方法の標準化

【デリバリー】

■注文方法のアクセシビリティに関する標準化

■配達時のアクセシビリティに関する標準化

(3) 公共交通機関

(3) 1 公共交通機関の環境

(3) 1-1 利用環境 (状況)

・家族や友人、あるいは個別に移動支援を頼ることが多く、公共交通機関を利用する障害者はほとんどいません。先進国と違って、公共交通機関がまだ完全にアクセス可能でないことが一因です。今回の新型コロナの流行により、ソーシャルディスタンス維持の規制が厳しく、公共のバスやタクシーは利用できません。(ブルネイ・視覚)

・特にピーク時における公共交通機関での移動。(マレーシア・視覚)

・公共交通機関(インドネシア・肢体)

・新型コロナの発生時、公共交通機関は大きな影響を受けました。公共交通機関を介してウイルスが拡散する可能性が高いため、公共交通機関の利用が停止となりました。(ネパール・肢体)

・徐々に公共の乗り物が走るようになりましたが、ウイルス感染を恐れて公共交通機関の利用を避けがちでした。(ネパール・肢体)

・新型コロナウイルス発生時、公共交通機関は最も不便なサービスの一つでした。(ネパール・肢体)

○在宅勤務・在宅学習が広がり、特に感染者数が多い時期には公共交通機関(電車・バス)の混雑が少ないのは興味深いところです。自閉症やその他発達障害のある人たちおよびその家族・介助者からすれば、より快適に移動できるので歓迎すべき傾向です。(シンガポール・知的・精神・発達)

・新型コロナのリスク/外出禁止令を受けて、利用できる公共交通機関を探すのに苦労したこと。(タイ・聴覚)

・新型コロナ蔓延で制限地域となり、帰省できなかった。(タイ・聴覚)

・新型コロナが確認された頃、外出するだけでとても怖かったです。ロックダウンが始まる前には、新型コロナ対応のルールを無視する人たちばかりでした。公共交通機関の利用とはすなわち、自分をウイルス感染の危険にさらすことでした。(インド・知的・精神・発達)

・公共交通機関は利用しようと思えばできますが、あえて利用はしていません。タクシーの方が感染リスクが小さいからです。(ミャンマー・発達《自閉》)

・私たちの組織が行っている訪問活動も、移動が制限されているために停滞してしまいました。(インド・知的・精神・発達)

○民間交通機関も同じようなものです。高価ですがサービスはよりよく、対応もよいです。医療目的ではなく、家族の緊急事態で救急車を利用することがあります。高額な費用がかかりますが、それでも役に立っていると言えます。(バングラディッシュ・肢体)

★もし一定のルートを辿る自動運転車両によって公共交通機関の乗り降りができるとしたら、どうなるでしょう。この自動運転車両が自ら消毒できれば、衛生面でも安心と言えます。発達障害のある人がいてしばしば移動が困難な家族・介助者からすれば、移動手段の制約など窮屈な思いをしなくて済みます。

(シンガポール・知的・精神・発達)

★車文化から脱却し、こうした人間の移動手段の未来像が描きたいものです。化石燃料への依存を減らし、事故の可能性も低くなるでしょう。(シンガポール・知的・精神・発達)

(3) 1-2 利用環境（状況）【アクセシビリティ】

- ・障害者にとって不便さとは、物理的な障壁と社会の姿勢や態度にあります。結婚式場、公園、ショッピングモール、大学などに行くとしても、スロープやバリアフリーのトイレがありません。車椅子の利用者はどうすればいいのでしょうか？（アフガニスタン・肢体）
- ・アフガニスタンの障害者は、公共の建造物や交通機関を利用する上で、さまざまな障壁に直面しています。（アフガニスタン・肢体）
- ・バングラデシュでは、公共交通機関が障害者にとって快適で利用しやすくなるように政策が実施されていません。車椅子の利用者にとってはさらに困難です。（バングラディッシュ・肢体）
- ・新型コロナが見つかった時、ほとんどの障害者は公共交通機関を利用できませんでした。その理由は、アクセシビリティの欠如だけでなく、政府が導入した他の制限もあるからです。（バングラディッシュ・肢体）
- ・障害のある女性や少女が公共交通機関を利用するのは並大抵のことではありません。（バングラディッシュ・肢体）
- ・公共交通機関に関わらず、すべて所定のスケジュールに沿って運行されているのであればとても助かるのですが、実際はそうなっていません。（ネパール・肢体）
- ★もっと公共交通機関が発達していればと思います。（ブルネイ・視覚）
- ★建築基準法やその他関連政策を実施すること。（バングラディッシュ・肢体）
- ★車椅子利用者が利用できること。（バングラディッシュ・肢体）
- ★すべての公共交通機関。（バス、鉄道、フェリー、ボート、船、飛行機）のドア、入口、チケットカウンターがアクセス可能であること。（バングラディッシュ・肢体）

(3) 1-3 利用環境（希望）【制度】

- ★公共交通機関の座席配置がジェンダーに配慮され、かつ障害者が利用できること。（バングラディッシュ・肢体）
- ★障害者が追加料金を求められた場合、政府が補償すること。（バングラディッシュ・肢体）
- ★障害者による公共交通機関の利用を政府が保証すること。（バングラディッシュ・肢体）
- ★障害のある女性や少女が公共交通機関を利用できるようになること。（バングラディッシュ・肢体）
- ★規則が忠実に実施され、厳しく監視されること。（バングラディッシュ・肢体）

(3) 2 公共交通機関の感染対策

(3) 2-1 検温装置・消毒

- 新型コロナの流行時、私たちは組織の車両やバイクを使うようになりました。緊急の場合のみ、個人タクシーやトゥクトゥクを利用します。その際も、乗車前からアルコールを噴霧して共同スペースを清掃・消毒するようにし、利用後も手指消毒液で清潔にするようにしています。（カンボジア・肢体）
- ★サービス利用時のアルコール消毒。（タイ・聴覚）
- ★公共交通機関における感染予防のルールがあれば、それが望ましいでしょう。（ミャンマー・発達《自閉》）
- ★バス、電車、地下鉄の運行頻度をもっと上げて、常に混雑しないようにすべきです。移動する毎に適切な消毒を行うことも欠かせません。（インド・知的・精神・発達）
- ★どの公共交通機関であっても手指消毒液が設置されることも望まれるサービスです。感染を抑制するのに非常に便利で効果的でしょう。（ネパール・肢体）

(3) 2-2 マスク

・電車やバスを待つ間、たとえ近くに誰もいなくても、公共交通機関を利用する場合は常にマスクを着用しなければならないのが課題です。(シンガポールの湿度や暑さを考えると、バス停や屋外の電車ホームで待つときはとても不快で、特に感覚に敏感な人にとっては厄介でしょう。(シンガポール・知的・精神・発達)

・また、乗客は皆マスクをつけて利用する必要があり、マスクをつけていない場合、乗車できないようになりました。(ネパール・肢体)

★電車やバスに乗っている間は適切な距離を保ち、乗り合いやライドシェアによる少人数での移動、移動時の保護シールドの使用、繰り返し消毒するなど、感染対策をきちんと講じていれば、新型コロナ禍で公共交通機関を利用する際にも役立つでしょう。(インド・知的・精神・発達)

(3) 3 座席

・空いている座席があっても、新型コロナ対応で立ったままの人が多くて大変だったこと。(タイ・聴覚)

○同時に、触れておきたい積極的な面もありました。それは、1列に1人のみ座るという新しいルールが適用され、公共交通機関でのウイルス感染リスクを軽減できたことです。(ネパール・肢体)

○見知らぬ人と相席になることなく、個人で移動できること。(マレーシア・視覚)

(3) 4 マーク

○2019年に陸運庁(LTA)が開始した新しい取り組みが、「見えない病状」についての啓発でした。見えないニーズを持つ人は、ステッカーを表示し、席を譲ってもらうことができます。自閉症者や他の発達障害のある人が公共交通機関を利用する際に役立っている仕組みです。(シンガポール・知的・精神・発達)

(3) 5 駅員等(サポート)

○自閉症者やその他発達障害のある人および家族・介助者にとってありがたいのは、は、見えない障害を理解し、知識を高めている公共交通機関のスタッフが増えていることです。シンガポールで鉄道サービスを提供しているSMRTは、2019年以降、見えない障害の理解に関する知識を現場職員が習得するように奨励しました。(シンガポール・知的・精神・発達)

○高齢者家庭に対しては、小さな仕事を請け負ってくれるたくさんの若者たちによる自発的な支援が提供されるようになりました。公共交通機関の利用が減少している間、多くの有志やボランティアが支えてくれました。(インド・知的・精神・発達)

★陸路と空路の両面で視覚障害者を移動支援できる研修を受けた人材。(マレーシア・視覚)

★手話を利用できる公共交通機関。(タイ・聴覚)

(3) 6 支払い

★あらゆる公共交通機関にキャッシュレス決済サービスがあれば、それは嬉しいです。(ネパール・肢体)

★公共交通機関が乗客からお金を受け取るのではなく、キャッシュレス決済に対応していれば、ウイルス感染を大幅に減らすことができますし、乗客にとっても非常に便利で役に立つでしょう。(ネパール・肢体)

(3) 7 アプリ・IT

・残念ながら、ブルネイで最も人気の交通アプリである Dart も対象になります。Dart は Grab に似ていて、時間や場所の融通が利く形で送迎サービスを選べるもので、安心して利用できます。しかし、新型コロナの広がり、利用停止となり、障害者の移動制限につながってしまいました。(ブルネイ・視覚)

・GrabHitch (配車アプリ) など相乗りサービスも利用停止となりました。交通費を節約するためにこうしたサービスを利用していた家族・介助者からすれば、不便ではないでしょうか。(シンガポール・知的・精神・発達)

★オンラインによるショッピングやタクシー予約、あるいは他のオンライン業務にしても、コミュニケーションの代替手段が確保され、障害に関する研修を受けたサービス業者やシステムが整備されて初めて、すべてが障害者に優しいものと言えるようになるでしょう。(パキスタン・聴覚)

(3) 8 割引等

・また、新型コロナ流行時には、障害者割引やその他の割引特典はなく、通常の2倍の料金がかかりました。公共交通機関と言っても限定されたサービスのみで、結局誰にとっても不便なものになってしまいました。(ネパール・肢体)

(3) 9 タクシー・ハイヤー・バス

・タクシーや個人ハイヤーの利用も課題です。最近(2021年9月中旬~10月中旬)になって、世帯(住所)が異なる場合、2人までしか乗車できないという規制が課されました。(例えば、ボランティア1名+発達障害児1名+家族・介助者1名の場合、ボランティアは別世帯であるため、同じタクシーに乗車できません。移動を必要とする活動の運営には不便です。)(シンガポール・知的・精神・発達)

・ワクチン接種者のみ乗車できるタクシー。(タイ・聴覚)

・タクシーやバスが利用できないこと。(ベトナム・肢体)

・不便を感じるのは、一般に多くの人を利用するタクシーなどのサービスです。カンボジアでは、バイクタクシー、トゥクトゥク、バス、車などの形態で、多くの人々がタクシーサービスを利用しています。新型コロナの流行により、公共交通機関を利用しない人が増えました。前述の通り、新型コロナの世界的あるいは局地的な流行は大きな懸念なのです。カンボジア王室政府は新型コロナの感染拡大に対応すべく、市バスやポートタクシーのサービスを一時的に停止しました。(カンボジア・肢体)

・当初、公共交通機関はすべて閉鎖され、やがて個人タクシーのみ許可されました。こうした個人タクシーは、インターネットで予約する必要がありました。運転手は通常目的地に到着してから電話で連絡を取ってきますが、正確な位置がわからないときには移動中に電話をかけてくることがあります。ここが問題なのです。何とかうまくいくのですが、これまで何度か問題に直面しました。予約を取り損ねたり、追加料金を支払うこともありました。主な問題は、乗客が聴覚障害者であること、そしてテキストによるコミュニケーションを好むことを伝える方法がないことです。運転手が読み書きできず、テキストによるコミュニケーションができない場合もあります。なお、タクシー会社は固定電話を利用して乗客に連絡してきます。テキストを利用できず、聴覚障害のある乗客は何も伝えられないのです。(パキスタン・聴覚)

・公共交通機関の駅にはスロープがなく、障害者に優しい設備が整理されていません。バスのドア、入口、券売機、チケットカウンター、そしてバスの中は障害者に優しくアクセスがよいとは言えません。障害者がバスに乗ろうとしている間にバスが発発してしまうのです。段差がある場合、代替手段がないのです。

(バングラディッシュ・肢体)

○ソーシャルディスタンス/Grab アプリを利用して呼ぶことができる個人タクシー、(一般の公共タクシーよりも) 清潔で安全と考えられるため。(タイ・聴覚)

★オンラインによるタクシー(がどこでも利用できること)。(インドネシア・肢体)

★バスターミナルの設備やサービスがより利用しやすくなること。(バングラディッシュ・肢体)

(3) 10 飛行機・空港

・フライトが利用できなくなり、特に海外へ行けなくなったこと。(マレーシア・視覚)

○空港施設でも同じようなものですが、空港ならばパーソナルアシスタントと広く利用されている貸し出し車椅子があります。(バングラディッシュ・肢体)

(3) 11 船・フェリー

・鉄道やすべてのフェリー、ボート、船のターミナルでは、アクセシビリティが全く確保されていないため、より複雑で困難な状況です。(バングラディッシュ・肢体)

○国内線を含むフライトでの移動に必要な条件が少なくなったこと。(マレーシア・視覚)

(3) 12 自家用車

・シンド州以外のパキスタンでは、聴覚障害者は運転免許を取得できません。そのため、パキスタン全土でバイクや自動車を運転する聴覚障害者は極めて限られています。新型コロナ禍では、当初はすべてが活動停止となりましたが、その後、工場はマスク着用で作業できるようになりました。公共交通機関の利用はまだ許可されませんでした。自らバイクや車に乗れる人は進んで仕事に参加することができましたが、公共交通機関に頼っている人は後回しとなりました。運転免許証を持つ聴覚障害者は少なく、不便なことの1つでした。(パキスタン・聴覚)

・ロックダウンが実施されると、自家用車を所有していなければ外出できなくなりました。そのため、移動の自由を制限される人が増えました。家族でも別々に隔離されなければならなかったり、車を運転できず家族と合流できない者もいました。特に視覚障害やその他の障害を持つ人にとって困難なものとなりました。移動の際に制約があるためです。(インド・知的・精神・発達)

○幸いにもシンド州では、2019年後半から聴覚障害者への運転免許の交付が開始されました。免許を取得できた人からすれば、幸運だったと思います。将来的には、民間交通機関にも平等にアクセスできるようになればと願っています。(パキスタン・聴覚)

(3) 13 その他

・何百もの地元企業、中小企業や零細企業が、瞬く間に国内外の顧客を失いました。(フィリピン・視覚)

・フィリピンがいかに関光業、接客業、小売業、流通業、公共交通機関、サービス業に直接・間接的に依存しているかを実証する結果となりました。(フィリピン・視覚)

・新型コロナの蔓延を抑制するためには、厳格な検疫政策が必要でした。この世界的な危機に対して、フィリピンは効果的な備えを行い、そこから立て直してきたとは言えません。(フィリピン・視覚)

・交通警察は、公共交通車両がルールを守っているかどうかを監視し、守らなかった場合は罰則を与えるという積極的な役割を果たしました。(ネパール・肢体)

(3) 14 まとめ

ここでは**公共交通機関**に特化した事項を下記に記載する。■印は、改善案と共に標準化の候補案を示している。

【情報】

■**交通に関する情報（運行状況、アクセス、感染対策、人数制限、混雑度等）が、障害のある人たちに伝わる形式、頻度、状況であるための標準化。**

- ・ソーシャルディスタンス維持の規制が厳しく、交通機関は利用できない・もしくは困難。
- ・感染者数が多い時期には公共交通機関（電車・バス）の混雑が少ない。
- ・利用できる公共交通機関を探すのに苦労。
- ・公共交通機関の利用とはすなわち、自分をウイルス感染の危険にさらすこと。

【アクセシビリティ】

■**すべての公共交通機関（鉄道、バス、飛行機、船、フェリー、ポート、タクシー等）の設備・設備機器がアクセシブルになるためのAD配慮事項の標準化**

★**規則が忠実に実施されるためのAD配慮事項の標準化**

- ・障害者にとっての不便さは、物理的な障壁と社会の姿勢や態度が関係してくる。
- ・障害者が、快適に利用しやすくなるような交通機関の整備の政策が実施されていない。
- ・公共交通機関の座席配置がジェンダーに配慮され、かつ障害者が利用できること。

【感染予防】

■**消毒に関するAD配慮事項の標準化**

- ・乗車前からアルコールを噴霧して共同スペースを清掃・消毒するようにし、利用後も手指消毒液で清潔にする。
- ・どの公共交通機関であっても手指消毒液が設置されることも望まれるサービス。

■**マスクに関するAD配慮事項の標準化**

- ・天候、障害の有無に関わらず、常にマスクを着用しなければならないのが困難な人がある。
- ・マスクをつけていない場合、交通機関を利用できないようになった。
- ・マスクは感染予防に有効だが、マスクをすることが困難な人がある。
- ・マスクをすることが困難なことを知らせるマークがあると良い。
- ・普段話している相手の口の形を読んでいる聴覚に障害のある人にはマスクがあることで読めなくなる。

■**座席に関するAD配慮事項の標準化**

- ・コロナ禍の時は、どのくらいの間隔をあければ良いかを検討する必要がある。

■**人的サポートに関するAD配慮事項の標準化**

- ・コロナ禍における、各障害に関するサポート方法を検討する。
- ・検討したサポート方法を、普及させるための工夫をする。

■**各種支払いに関するAD配慮事項の標準化**

- ・キュッシュレスの場合、ソフト・ハード面のAD配慮が必要。

(4) 娯楽・スポーツ

(4) 1 娯楽・スポーツ

(4) 1-1 娯楽・スポーツ（共通）に関する実施・環境状況

・家族・介助者からすれば、余暇活動に参加する目的は、発達障害のあるわが子がいずれ家から出て社会で生きていくため、他人と交流する機会を得るためだったと言います。発達障害のある方にとっては、ボランティアとコミュニケーションしたり、交流を通じて認知能力を維持するためでもありました。（シンガポール・知的・精神・発達）

・公共の場に滞在しにくくなったこと。（インドネシア・肢体）

・余暇・スポーツに関するサービスを利用していない。（ベトナム・肢体）

・自閉症やその他の障害を持つ私の学校の生徒たちは、余暇・スポーツ活動を含むあらゆる活動に参加するために学校に来ていました。しかし、新型コロナの流行で状況は一変しました。それまで学校で行われていた屋外活動が中止され、体を動かす機会がなくなりました。彼らは屋内に留まることになり、フラストレーションの増長が課題となっています。これまで、私たちは社会的包摂に向けて懸命に取り組んできました。しかし、現実には学習機会を失い、その後の人生に必要なものを得るチャンスを逃しています。余暇・スポーツの機会がなくなることで、彼らの代謝機能に影響を与えています。食事をして運動をしないため、肥満や怠慢になりがちです。（インド・知的・精神・発達）

・新型コロナの発生が余暇・スポーツ活動に大きな影響を与えたことは間違いありません。そもそも余暇・スポーツ活動を継続できませんでした。映画館、ショッピングモール、フットサル、スポーツジムや施設、スタジアムなどは、感染が急速に広がるにつれて閉鎖されました。予定されていた競技大会は状況が落ち着くまで延期され、同様に公開予定の映画は、政府がショッピングモールや映画館への入構許可が出るまで上映中止となりました。（ネパール・肢体）

・余暇・スポーツ活動を楽しみにしている人は多く、新型コロナによって生じたこの状況は、不便なものとなりました。（ネパール・肢体）

・バングラデシュでは、障害者の収入機会は限られています。基本的なニーズを満たすのに苦労している障害者がほとんどです。レジャーやスポーツを楽しむことなど彼らにとっては贅沢です。自分のお金や時間をそこに使う機会はほぼありません。政府機関のサービスを利用する研修生や学生のために、できる範囲内で時々アレンジされる程度です。（バングラディッシュ・肢体）

・バングラデシュでは、障害者のための余暇・スポーツ活動を定期的に行っているところはありません。

（バングラディッシュ・肢体）

・余暇・スポーツ活動を楽しむ時間がある教育機関に通う障害のある学生や子どもたちでさえ、新型コロナの出現によって規則の範囲内での活動に留まるよう要請され、余暇活動はなくなりました。（バングラディッシュ・肢体）

・NGOや障害当事者団体によっては、ドナーからの資金を得て余暇・スポーツ活動を行うときもあります。（バングラディッシュ・肢体）

・もう一つ触れたいのは、ドナーからの資金提供の競争により利害の対立があり、障害者の権利を守るにしても障害者たちが団結していないことです。（バングラディッシュ・肢体）

○近場の体育館やレクリエーション施設、公園を利用できること。（マレーシア・視覚）

○発達障害者支援センターや特別支援学校は、ロックダウン中も開校していました。職場に行っても働かなければならない家庭の場合（在宅ワーク不可）、発達障害児のケアが必要な家庭にとって不可欠なもので

した。発達障害のある人が暴れたり極端な行動に出た時の対処に苦労している家庭の場合、まさに命綱となるものでした。（シンガポール・知的・精神・発達）

○草の根で活動するメンバーの支持を得て、障害当事者団体である BPKS は余暇・スポーツの活動を行っています。BPKS が活動するコミュニティでは、障害者が地域社会で余暇・スポーツ活動を楽しむ機会に恵まれています。なぜなら、そうした地域社会がすでに障害者に友好的で、余暇・スポーツに対する障害者の権利を理解し受け入れてくれているからです。（バングラディッシュ・肢体）

★新型コロナ感染によって発達障害者の社会的・余暇的ニーズが大きく損なわれていることを認識する必要があります。介護ストレスから家庭内暴力などのリスクの高い状況に陥る前に、NGO/政府はこうしたニーズへの対応を検討することが急務かもしれません。（シンガポール・知的・精神・発達）

★新型コロナ対応のルールを遵守した上で公共の場を利用できるようにすべきです。（ミャンマー・発達《自閉》）

★新型コロナ感染対策に十分配慮した上で、オープンスペースで交流イベントができるのならば嬉しいですね。（インド・知的・精神・発達）

★誰もが利用できる余暇・スポーツ施設が自分たちのコミュニティ内にあること。（バングラディッシュ・肢体）

★設備や資金を必要に応じて効果的に活用できる障害当事者団体があること。（バングラディッシュ・肢体）

（４） １－２ 娯楽に関する実施・環境状況

・新型コロナの大流行は、世界各国の人たちに影響しています。公衆衛生面から制限が課され、お祭り、コンサート、その他のイベントがキャンセルされました。休日の取り組みや盛大な祝賀行事が規模を縮小したり、保留になっています。ここ数ヶ月、カンボジアもロックダウンやソーシャルディスタンスの徹底といった他国と同じ手法を取り、各地でいろいろな影響をもたらしています。その結果、余暇・スポーツ活動はこの１年ほどで中止または延期が続いています。（カンボジア・肢体）

・個々を見れば、障害者の多くは空いた時間にコミュニティの喫茶店でおしゃべりをしたり、女性がテレビを見たり、家事を追われながら過ごしています。やはり障害者の余暇活動でも、アクセシビリティの欠如が課題です。（バングラディッシュ・肢体）

★インドの農村部で活動する連携パートナーを対象に、障害児の遊び方や余暇活動の重要性に関して知識を共有できる場に恵まれればと思っています。（インド・知的・精神・発達）

★平等が確保され、十分な食料があり、仕事をしながら社会で人として尊重され、経済的にやりくりしていけること、これらが私たちが希望することです。タリバン政権以前は、障害者支援の活動をしている NGO がありました。現在では、障害者支援を進める NGO や障害当事者団体の 99% が資金不足で活動できなくなりました。（アフガニスタン・肢体）

★コミュニティがより障害に適応すること。（バングラディッシュ・肢体）

★アクセスのよい屋内の遊び場や観光施設が増えること。（バングラディッシュ・肢体）

・友人や家族とショッピングモールや公園へ出かけられなくなったこと。（マレーシア・視覚）

・地区や州を越えて親戚や友人を訪ねることができなくなったこと。（マレーシア・視覚）

・自閉症者にとっては、より多くの人たちを受け入れつつ、自分のコミュニケーション能力を探求できる機会なのです。家族・介助者にとっては、障害の子どもがボランティアと一緒にいる間、しばし離れて休む時間にもなっていました。新型コロナでこうしたニーズは満たされず、発達障害者や家族・介助者の大きなストレスになっています。（シンガポール・知的・精神・発達）

○障害当事者でかつ障害者支援をした経験から、アクセスのよい宿泊施設・病院・ショッピングモールや政府の建物かつ障害者への配慮あるサービスを提供してくれる場合、私たちもうれしく感じます。障害者の多くは、この国には未来がないと思っています。その主な理由は、障害者法が障害者の権利と尊重のために実施されていないことです。アフガニスタンの障害者法は、官僚が作った形式的なものであり、中身がありません。国連・障害者権利条約も同じです。しかし、重度の障害を持ち、経済的に貧しく、家族も貧しく、人間社会で十分に尊重されていないアフガニスタンの障害者は、どうすれば喜んでくれるでしょうか。（アフガニスタン・肢体）

★レクリエーションや文化的・歴史的意義のある場所へのアクセス通路を基準化され、一定の仕様に準拠させること（バングラディッシュ・肢体）

（４） １－３ スポーツに関する実施・環境状況

・私は精力的に生活していて、頻繁にジムに通ったり、目の見える伴走者と一緒に外で走ったりしています。2021年8月に第2波が襲ってきたとき、屋外活動はすべて停止せざるを得ませんでした。屋内や自宅に留まることになり、不要な外出の自粛を求められたのです。（ブルネイ・視覚）

・ジムに行くという選択肢がなくなり、アクティブに過ごすことが難しくなりました。自宅でもトレーニングできますが、ジムの設備や人ごみがないと、同じようにはいきません。（ブルネイ・視覚）

・ウォーキング、ジョギングやストレッチのような屋外活動ができなくなったこと。（マレーシア・視覚）

・屋内外を問わずスポーツ活動が少人数に制限されました。自閉症やその他発達障害のある人がその制限を理解しルールを守って活動できるかどうかは課題となっています。（シンガポール・知的・精神・発達）

・公共の場はすべて閉鎖され、自閉症者の日常生活に影響を及ぼしています。彼らが軽度の運動をしたり、新鮮な空気を吸うスペースすらありません。（ミャンマー・発達《自閉》）

・コロナ禍で、障害を理由に社会から取り残され、家の片隅に留まっていた障害者がたくさんいます。彼らのための余暇やスポーツのプログラムなどありません。国際赤十字社（ICRC）の建物内に車椅子バスケットボール選手数名のための体育館がありますが、アフガニスタンの障害者のためのものではありません。世界食糧計画（WFP）の最新の調査によると、驚くことに約90%のアフガニスタン人が貧困の中で暮らしていると言われています。新型コロナとタリバン政権により、障害者は極度の貧困状態にあります。（アフガニスタン・肢体）

・発達障害のある人に人気があるのはボウリングなどの集団で行うものです。これらの活動は冷暖房完備の屋内で行うため、利用停止せざるを得ませんでした。（シンガポール・知的・精神・発達）

○自宅にある運動器具。運動することができる場所。（タイ・聴覚）

○自宅や職場の近くには、何かと楽しめる場所があります。お気に入りの公共施設や公園、近隣の住宅地や集落で散歩をすることです。新型コロナの流行により、確かに自粛せざるを得ない活動があります。一方で、車椅子で出歩いたり、フィットネスマシンを使って体を動かしたりと、屋外でも工夫できる余地はいろいろあります。新型コロナの流行時、余暇・スポーツ活動に関してあってよかったのは、自宅または職場で利用できるフィットネス用の機器と、パーソナルアシスタントによる支援です。（カンボジア・肢体）

○自宅にトレッドミルがあるなら、これは必需品になっています。他にも、ナイキトレーニングクラブや「The Conqueror Challenges」というオンラインで健康管理できるアプリがあります。（ブルネイ・視覚）

(4) 2 感染対策

(4) 2-1 感染対策 (マスク)

・フィットネス、スポーツ施設、映画館などは新型コロナ感染リスクがあるため、サービス利用不可となりました。インストラクターがマスクをしていて、指導についていけません。対面で学べるジムに通えず(オンライン指導)、費用がもったいないです。スポーツ仲間に会えません。(タイ・聴覚)

★マスクをつけずに体を動かせるプログラム。(タイ・聴覚)

(4) 2-2 感染対策 (道具・機器)

★もし素晴らしいトレーナーと個人利用のパンチバッグがあるといいですね。室内でも意図した運動ができるでしょう。(ブルネイ・視覚)

★小規模のジム、プール、ジョギングコースなどの屋内施設。(マレーシア・視覚)

★新型コロナの流行中、ぜひあれば嬉しいのは、手動のスタンディング車椅子、そして自宅または職場で運動ができるフィットネス機器です。(カンボジア・肢体)

★適切な補助器具があること。(バングラディッシュ・肢体)

(4) 3 オンライン・アプリ

(4) 3-1 オンライン・アプリ (娯楽・スポーツ共通)

・ロックダウンの間、社会との関わりが限られ、出会いや集まりが減ったことで、コミュニティ、カースト、宗教、民族を問わず、あらゆる人が影響を受けました。中には、ソーシャルメディアやその他オンラインの仕組みを利用して、連絡を取り合う人もいました。(インド・知的・精神・発達)

○オンラインショッピング(インドネシア・肢体)

★家族・介助者がニンテンドーWiiなどのゲーム機を借りて、発達障害のある子どもの健康維持に資するプログラムを行うのもよいでしょう。(感染拡大時に困っている家族に、在宅ワーク・学習のためにノートパソコンやコンピューターを貸し出したり寄付したりするのと考え方は同じです。また、携帯電話やテレビのリモコンがゲーム操作機となり、Netflixや全国ネットのテレビでゲームを遊べるようになれば、ゲーム機器を買えない低所得者層の家庭でもハードルを下げることができるかもしれません。)(シンガポール・知的・精神・発達)

★また、サービスプロバイダーが手頃な価格のインターネットパッケージを導入できていたら、コロナ禍でできた時間をより生産的に過ごせたでしょう。今回のコロナ禍で私がほしかったのは、こうしたサービスです。(ネパール・肢体)

★支援ツールがあれば、障害者も余暇・スポーツの機会にアクセスできるでしょう。問題なのは、そうした支援ツールが利用できるかどうかです。(フィリピン・視覚)

★オンライン映画やドラマ、バラエティ番組で字幕または手話通訳が入っているもの。(タイ・聴覚)

★都市部と農村部の間にあるデジタル利用の差を解消することは重要なことで、誰もが一定程度の水準に達する必要があります。誰も取り残されてはいけません。(インド・知的・精神・発達)

★サービスプロバイダーが手頃な価格のインターネットパッケージを導入できていたら、コロナ禍でできた時間をより生産的に過ごせたでしょう。今回のコロナ禍で私がほしかったのは、こうしたサービスです。(ネパール・肢体)

(4) 3-2 オンライン・アプリ (娯楽)

・最も影響を受けたのはいわゆる社会的に厳しい状況に置かれている人たちでした。例えば、移住労働者、高齢者、子供や障害者です。生計を立てる手段を失い、生き残ることだけを考えるようになりました。余暇・スポーツ活動は後回しになりました。オンラインゲームに時間を費やし、オンライン上で友人と遊ぶのです。デジタル機器や設備にアクセスできない場合、こうした機会を得ることができませんでした。

(インド・知的・精神・発達)

○インターネットにアクセスできるということは大きなことです。字幕付きの映画を見たり、ゲームをしたり、テキストメッセージや手話が映るビデオチャットを使って、仲間とコミュニケーションをとることができました。(パキスタン・聴覚)

○対面での付き合いが難しくなった一方で、オンラインでの付き合いに活路を見出した人も多いです。それまで対面で提供されていたサービスや余暇スキル向上に向けた授業がオンラインに切り替わりました。絵画や曼荼羅作りなどのスキルや趣味を楽しむ機会につなげることができました。障害のある学生たちも、オンラインという媒体に慣れてきました。新型コロナ禍で利用できるようになったオンラインゲームで学ぶことに魅力を感じているようです。(インド・知的・精神・発達)

・余暇活動が制約を受けました。宗教団体や慈善団体による活動も制限され、現在に至っています。これらの活動の多くはオンラインに移行せざるを得ませんでした。そこでもまた、デジタル識字の壁があります。発達障害者からすれば、個々の違いが尊重されにくく、集中力が長続きせずじっとしてられないといった課題に直面することになりました。(シンガポール・知的・精神・発達)

・以前はジムに通っていましたが、新型コロナ感染が拡大した際にジムも閉鎖されました。今は再び利用できるようになりましたが、全てが閉鎖されたのは1年以上前のことです。余暇やスポーツ活動がすべて自粛となり、公園も閉鎖されました。家庭内では何かと窮屈な生活でした。そんな中、テレビは良い娯楽になるのですが、字幕や手話通訳を備えたチャンネルはありません。私たち聴覚障害者からすれば、健常者以上に不便を感じています。(パキスタン・聴覚)

○オンラインを中心に、障害児同士がゲームをしたり一緒に過ごす交流時間を意識して設けるようにしています。(インド・知的・精神・発達)

○新型コロナの流行で自粛に飽きていた頃、映画をオンラインで公開し、顧客に楽しんでもらうようにする映画製作者が出てきました。同様に、多くのオンラインストーリーミングサービスが人気を博し、娯楽の主要な供給源となりました。(ネパール・肢体)

○また、インドアゲームやヨガ、複数人で楽しめるオンラインゲームなども人気となりました。ルド(すごろくのようなゲーム)やPUBG(バトルゲーム)の他、Tiktok、Facebook、YouTubeなどのソーシャルメディアを娯楽目的として利用している人が増えました。(ネパール・肢体)

○さらには、多くのチャンネルで有名な映画の再放送され、楽しみとなりました。(ネパール・肢体)

★もしインターネットサービスがもっと良質なものであったら、非常に便利だったでしょう。オンラインで映画を見ているときに読み込みに時間がかかったり、仕事をしているときに速度が遅くなるなど、インターネット利用が快適とは言えませんでした。もしインターネットプロバイダーが安定したネット環境を提供できていたのなら、もっと好ましい状況になっていたでしょう。(ネパール・肢体)

★手話を使ってデュエットできるアプリ。(タイ・聴覚)

★新型コロナの発生時、障害者の余暇活動を念頭に障害者向けのアプリが開発されました。(インド・知的・精神・発達)

★テレビで放映されるあらゆるニュースやエンターテインメントにおいて、リアルタイムで字幕を付けて欲しいものです。また、スポーツやエクササイズ関連の内容など、心身ともに健康でいられるような番組

がもっと放送されればいいと思います。こうした内容を網羅した番組は地元のテレビ局にはありませんが、オンラインならば入手可能です。（パキスタン・聴覚）

★新型コロナ禍では、テレビ局は実情に照らしてもっと利用しやすくあるべきでしょう。テレビ局から自助努力するとは思えませんが、私たちはリアルタイムの字幕や手話通訳の提供をもっと働きかけるつもりです。（パキスタン・聴覚）

（４）３－３ オンライン・アプリ （スポーツ）

○知的障害のある人に向けたオンラインの身体運動プログラムが APCD によって紹介されました。（ミャンマー・発達《自閉》）

○国内のいろいろなところからリソースを集め、作業療法や室内エクササイズなどの分野でオンラインによる活動を提供できるようになりました。（インド・知的・精神・発達）

○自宅にいくつか健康器具があり、何とか体を動かすことができています。今もジムに行きたいところですが、自宅で基本的なトレーニングをすることで、健康な状態を維持しています。スマホの健康関連アプリ、例えばナイキランクラブには、トレーニングプログラムとコーチの助言が録画されていて便利です。（ブルネイ・視覚）

○ニンテンドーWii などユーザーの運動感覚を必要とするゲーム機は、発達障害者が自宅で健康を維持するのに有用で効果的であることがわかりました。（ゲーム機やソフトを購入する経済的余裕があり、ユーザーが動き回れる十分なスペースを家の中に確保することが課題でした。狭いアパートに住んでいる人や、在宅ワーク・学習をする家族がいる場合、難しいかもしれません。）（シンガポール・知的・精神・発達）

★発達障害者の余暇・スポーツ活動を行う上で、運動感覚やその他の感覚システムを利用できるので、拡張現実（AR）が良い代替手段となるかもしれません。（例えば、シンガポール政府観光局（STB）は、新型コロナ感染拡大に対応するため、AR を中心とした取り組みを開始しました。）詳細はこちらをご覧ください。"AR で没入感のある世界づくりを"（シンガポール・知的・精神・発達）

(4) 4 まとめ

ここでは**娯楽・スポーツ**に特化した事項を下記に記載する。■印は、改善案と共に標準化の候補案を示している。

【情報】

■娯楽・スポーツができる場所、条件などの情報に関するAD配慮事項の標準化

- ・公共の場に滞在しにくくなった。
- ・余暇・スポーツに関するサービスを利用していない。
- ・各種娯楽会場は、閉鎖された。
- ・利用できる施設もあった。

【室内・家庭内】

■自宅等、感染の危険がない場所でできる娯楽・スポーツに関するAD配慮事項の標準化

- ・自宅にある運動器具。運動することができる場所。
- ・オンラインでできるスポーツに関するツール。
- ・オンラインでできる娯楽のツール。

(5) イベント

(5) 1 イベント

(5) 1-1 イベントの状況（中止・延期）

- ・新型コロナ禍で、イベント開催は政府によって厳しく禁止されている。（ブルネイ・視覚）
- ・全く参加できていない。（ラオス・発達《自閉》）
- ・対面でイベントや会議が開催できないこと。（タイ・聴覚）
- ・公式・非公式を問わず、イベントの企画や出席ができなくなったこと。（マレーシア・視覚）
- ・事前に計画していたイベントが中止または無期限延期となったこと。（マレーシア・視覚）
- ・資金調達、研修、販売促進など、ほぼすべての企画が見直しとなったこと。（マレーシア・視覚）
- ・イベント用の打ち合わせの場・ホテル会場のサービスがないこと。その結果、イベント実施が延期されてしまった。1カ所に集まれないこと。（タイ・聴覚）
- ・開催しているイベントがない。（ベトナム・肢体）
- ・新型コロナの発生時、いかなる集会や交流会も開催できませんでした。結婚式場も、宴会場も、ビュッフェ会場も、すべて閉鎖されました。新型コロナの流行以前から予約していたとしても、返金はありませんでした。長期間のロックダウンに耐えられずに倒産してしまった企業もありました。その会社の責任者は破産宣言して連絡が取れなくなり、顧客はどうしようもなくなってしまいました。（インド・知的・精神・発達）
- ・イベントがすべてオンラインとなり、自閉症者が集中できず参加できていません。（ミャンマー・発達《自閉》）
- ・新型コロナの発生により、予定していたイベントの実施が不可能になりました。その結果、中止、延期または企画を変更せざるを得ませんでした。予定されていたイベントが実施できなかったため、パートナー企業に予算が返金されました。（ネパール・肢体）

(5) 1-2 イベントの状況（人数制限）

- ・葬儀やイスラム教徒の結婚式であるニカーなどは例外です。イスラム法における新郎新婦の結婚の契約であり、両家族が出席するものです。しかし、最大5名までが入れる一室でのみ認められていて、祝賀ムードは薄れがちです。（ブルネイ・視覚）
- ・イベントとは、展示会、企業行事（会議、夕食会&ダンス、研修旅行など）、社会的行事（冠婚葬祭、誕生日会など）を指します。イベントに参加できる人数制限は常に変化しており、その設定も一様ではありません。例えば、2021年の初期には、結婚式は50名までOKでしたが、全員がワクチン接種を受け、参加前の綿棒を使った検査で陽性でないことを確認する必要がありました。（シンガポール・知的・精神・発達）
- ・葬儀について1度に10人しか参列できませんでした。その後2021年8月19日以降、ワクチン接種者であれば1000人まで、未接種者ならば50人までの対面イベントが許可されました。（シンガポール・知的・精神・発達）
- ・交流会、ワークショップ、セミナー、パーティーなど、人が集まるイベント、特に大勢が集まる場に参加できなくて困っています。また、風通しの悪い場所では、新型コロナが蔓延しやすいので怖いですね。（カンボジア・肢体）
- ・新型コロナの流行中、実際に出席して行われたイベントの数と種類はごくわずかです。バングラデシュでは、結婚、文化、宗教、公式イベントなど、ほとんどの行事が中止になりました。やむを得ず開催され

たイベントでも、参加者数は定員の 10%に満たないものでした。例えば、BPKS の建物で、障害者リーダーを対象に新型コロナに関する研修を 10 回行いました。会場の収容人数は 80 人ですが、10 人のみが宿泊して研修を実施しました。(バングラディッシュ・肢体)

○行動制限は受けましたが、BPKS の建物で障害者リーダーを対象とした新型コロナ対策の研修を 10 回実施しました。通常であれば 50 人参加する規模の研修ながら、毎回 10 人のみの参加としました。また、100 人の障害者を対象に現金給付を行い、自ら財政の確立を促すイベントを 2 回実施しました。こうした機会は、責任のある身体障害者リーダーとして生きていく自覚を促します。(バングラディッシュ・肢体)

(5) 1-3 イベントの状況(実施)

・いくつかイベントの招待状を受け取りましたが、私たちは移動手段がないため参加できませんでした。(バングラディッシュ・肢体)

○例外的に政府の許可を得て開催されたイベントがあったこと。(ブルネイ・視覚)

○イベントを開催するために自由に使える場所ができたことはよかったです。変化に迅速に対応したビジネスが広がれば、サービスを求める人たちの解決策につながります。(インド・知的・精神・発達)

○家族との夕食。(ラオス・発達《自閉》)

★例外的に政府の許可を得て、もっとイベントが開催されること。(ブルネイ・視覚)

★在宅勤務を行うための小スペース。(マレーシア・視覚)

★新型コロナ禍で直接会わなくてもやり取りできる設備・機器のサポート。家族のためのプライベート空間。(マレーシア・視覚)

★講堂、集会場、劇場、その他公共施設において、車椅子利用者用のスペースが指定され、利用できること。(バングラディッシュ・肢体)

★イベント開催時、障壁を解消する代替手段が提供されること。(バングラディッシュ・肢体)

★ジェンダーや車いす利用者に配慮した座席配置になっていること。(バングラディッシュ・肢体)

★ルールが厳格に実施され、当局が監視していること。(バングラディッシュ・肢体)

★安全な場所で安全な食事が提供されていること。(バングラディッシュ・肢体)

(5) 1-4 感染対策

・イベントの参加前に綿棒を使った検査を受けるということですが、不安に思う発達障害者がいるかもしれません。不安感から突然怒り出してしまい、綿棒検査に協力的でない発達障害者もいます。その結果、結婚式やパーティーなど、家族の大切な集まりから外れてしまうことになります。(シンガポール・知的・精神・発達)

・イベントが許可された際、標準作業手順書に従うことが必須でした。マスクの着用、ソーシャルディスタンスの確保、手指消毒液の利用などです。最も不便だったのは、フェイスマスクです。口元や表情を読み取れなくなり、聴覚障害者からすればコミュニケーションを取る上でより困難になりました。(パキスタン・聴覚)

★対面にてイベントに参加したいけれど、綿棒検査が怖くて不参加となる発達障害者がいるかもしれません。そのような方々のために、呼気による検査や口腔粘膜細胞(頬の内側を綿棒でぬぐう)による検査など、鼻咽頭ぬぐい液より受けやすい検査方法を開発してほしいという声があります。シンガポールではすでにそのような製品が開発されていて利用できます。しかし、新型コロナの検出精度がまだそこまで高くなく、主流にはなっていないようです。現時点では、鼻腔からの検査が主流となっています。(シンガポール・知的・精神・発達)

- ★マスク着用の義務付けや参加者に十分なスペースを確保するよう推奨されることです。また、マスク、アルコールによる手指消毒剤または石鹸と水の利用、ティッシュ、蓋の閉まるゴミ箱の提供が、新型コロナ感染対策になります。オンラインイベントの実施が最も良い方法でしょう。（カンボジア・肢体）
- ★質の良い透明マスクがあればいいなと思っていますが、実際にはそんなものはありませんでした。あとで私たちは法政大学と連絡を取り、学生が透明マスクを制作しました。こうした透明マスクは、新型コロナの感染拡大時、コミュニケーション上の障壁を無くす一助となります。（パキスタン・聴覚）
- ★新型コロナのような感染症の影響がないこと。（バングラディッシュ・肢体）
- ★イベント施設や会場が安全でアクセスしやすいこと。（バングラディッシュ・肢体）

（５） １－５ アクセス

- ・100人の障害者を対象に現金給付を行い、自ら財政の確立を促すイベントを2回実施しました。このイベントの参加者とゲストは、特に移動の際に多くの困難に直面しました。（バングラディッシュ・肢体）
- ★障害者を優先したり、気遣いがあったり、アクセスしやすい環境。（アフガニスタン・肢体）
- ★義肢・装具や生活に欠かせないサービスにアクセスできれば、障害者を自立した生活につながり幸せになれます。しかし、アフガニスタンの障害者は、以下のような多くの課題に直面しています。1- 標準的な義肢・装具がない 2- 車椅子の不足 3- 松葉杖、歩行器、視覚障害者のための白杖、聴覚障害者のための補聴器などの障害者支援機器の不足。もし障害者がこれらの製品を利用できるようになれば、うれしいでしょう。（アフガニスタン・肢体）

（５） １－６ アクセシビリティ

- 少人数や手話・字幕の有無を問わず、特定のグループに対応したサービスの提供。（タイ・聴覚）

（５） １－７ 差別

- ・ショッピングモール、病院や診療所など医療機関、宿泊施設、銀行などの商業施設は物理的にアクセスしにくかったのですが、コロナ禍は障害者にとってさらなる障壁となりました 偏見が寄せられ、障害者はこうした場所でいい思いをしませんでした。障害者がウイルスに感染しているかもしれないと考え、障害者に近づこうとしない人がいたのです。（アフガニスタン・肢体）
- ・新型コロナによりロックダウンされた際、裕福な人たちは食料・サービスなどを提供しましたが、障害者は同じように受け取ることはありませんでした。（アフガニスタン・肢体）
- ★人間社会での障害の有無に関わらず誰もが平等に尊重されること。（アフガニスタン・肢体）

（５） ２ オンラインイベント

- ・オンライン Zoom アプリで多人数で長時間会議を行うようになったこと。（タイ・聴覚）
- ・新型コロナに対応するため、zoom や teams といったオンラインツールを利用してイベントを実施しました。しかし、これらは非常に新しいコンセプトであるため、多くの人がこれらを使いこなすことに苦労しました。十分に活用できなかった理由として、インターネットの接続環境が悪いことや適切なデバイスを利用できなかったことが挙げられます。（ネパール・肢体）
- インターネット接続の補助金をもらって開催されたオンラインのライブセミナーです。参加者は国内外の労働市場で希望する在宅ワークの機会を得る方法を学びました。（フィリピン・視覚）
- ライブ放送によって、対面イベントに参加できずともオンラインで参加できるようになりました。Zoom、Google、Facebook やその他企業が提供するストリーミング技術は、新型コロナ禍で驚異的に向

上しました。ほぼコストをかけずにアクセスすることができるようになりました。(テクノロジーの発展によって障壁が取り払われ、世界のどこにいてもイベントに参加できるようになったのです。(シンガポール・知的・精神・発達)

○オンラインによるファンレイジング活動。(マレーシア・視覚)

○オンラインによるセミナー、講演、会議。(マレーシア・視覚)

○Zoom アプリを通じた会議手法/インターネット/SNS/オンラインで参加できるイベント(タイ・聴覚)

○オンラインイベントを行うにしても、屋内の密を避け、屋外で実施できればより安全です。(カンボジア・肢体)

○オンラインを利用することで、課題解決に向けた新しい手法を提供する人が増えました。イベントの運営方法という点で非常に創造的になりました。アプリを開発し、イベント開催に必要なすべてを提供するようになりました。(インド・知的・精神・発達)

○対面でイベントを行えない代わりに、オンラインを通じて実施されました。オンラインを紹介して、有益なプログラムに参加できるようになったのはよかったです。特に障害者には様々な事情があり、オンラインによるイベント実施は非常に良い仕組みであると感じています。オンラインの活用によって、イベント実施の時間と費用を節約できること、障害者にとってアクセス可能な場所かどうかを心配しなくて済むからです。移動が大きな課題となっている障害者は多く、オンラインによって自宅から積極的に参加することができました。(ネパール・肢体)

★必要なのは、安定したインターネット接続と視聴デバイスです。(シンガポール・知的・精神・発達)

★オンラインコンサート(ベトナム・肢体)

★オンラインでイベントを実施する場合、インターネットの安定性、適切な電子機器の不足、技術的な知識の不足など、多くの問題が想定されます。これらの問題が解決されたのならうれしいですが、実際にはこうした課題がありました。(ネパール・肢体)

★オンラインの仕組みを効果的に利用するための研修を受けることができれば、もっと多くの人々がイベントを実施できるようになるでしょう。(ネパール・肢体)

★一方、イベントへの参加や実施するのに必要な電子機器を誰もが持っているわけではありません。頻繁に切断されるなど、ネパールのインターネット環境は良い状況とは言えません。時折、事前の通知なしに電気が止まることもあります。こうした課題が解決されれば、もっとやりやすくなるでしょう。(ネパール・肢体)

(5) 3 まとめ

ここではイベントに特化した事項を記載する。■印は、改善案と共に標準化の候補案を示している。

【情報】

■イベントの情報に関するAD配慮事項の標準化

- ・イベント開催は政府によって厳しく禁止されている。
- ・開催しているイベントがない。
- ・人数制限は常に変化している。
- ・例外的に政府の許可を得て開催されたイベントがあった。

【感染対策】

■イベント実施の際実施する感染対策に関するAD配慮事項の標準化

- ・イベントが許可された際、標準作業手順書に従うことが必須だった。
- ・マスクの着用、ソーシャルディスタンスの確保、手指消毒液の利用など。
- ・マスク着用の義務付けや参加者に十分なスペースを確保するよう推奨された。また、マスク、アルコールによる手指消毒剤または石鹸と水の利用、ティッシュ、蓋の閉まるゴミ箱の提供が、新型コロナ感染対策になった。
- ・障害者リーダーを対象に新型コロナに関する研修を行っている。

(6) 仕事・勉学

(6) 1 仕事・勉学 (共通)

(6) 1-1 状況 (共通)

・カンボジアの障害者による労働・雇用の状況と課題をお伝えします。新型コロナの流行によって影響を受けた障害者に関する正確なデータはありません。社会的企業、NGO、市民団体、民間企業、コミュニティ密着型組織、障害者個人への短いインタビューと受け取った情報に基づいて整理すると、担当業務の変更、労働時間の短縮、失業後求職中、失業後に転職したという人が約 25%ほどいました。さらに、約 75%の人は雇用形態に変化がなかったようです。私の組織の場合、仕事自体を変えたわけではありません。チームに分けて職場で働く人と自宅またはその他どこかからオンラインで仕事する人に分けたのですが、こうした働き方は私たちにとっても初めてのことでした。初めての経験ばかりで、在宅勤務で求められる ICT スキルの不足には大変苦労しました。(カンボジア・肢体)

・アフガニスタンの障害者は、常に物理的なアクセシビリティ、コミュニケーションの障壁に直面しています。差別や不平等によって、障害者が不便なことに遭遇します。公共・民間施設ともに物理的にアクセスしやすく、特に車椅子ユーザーや重度障害者は不便を感じています。(アフガニスタン・肢体)

・アフガニスタンでは、コロナ禍の前から感染拡大後も、障害者の実態を把握する調査が行われたことはありません。多くの困難とスティグマを抱えながらも、私たち障害者は毎日を何とか過ごしています。障害者が幸せを実感するような十分なサービスは提供されていません。障害者がメディアを通じて周知でき、障害者を包摂したサービスの提供を保健省に要請しましたが、その声を届きませんでした。(アフガニスタン)

・18 歳以上になっても親の関与が常に必要な障害のある生徒でありながら、親御さん方も労働や家事があり、この両立が大きな課題であること。(インド・知的・精神・発達)

・生徒は在宅で学習しなければならず、ビーズや粘土など最低限の教材を自宅で準備するにあたり、親御さん方にそれを教示する時間を割かなければならないこと。(インド・知的・精神・発達)

・労働について、発達障害者がまず離職してしまいます。以下が原因です。(シンガポール・知的・精神・発達)

・発達障害者が長く従事してきた雇用機会について、余剰人員として整理されたよりスキルのある健常者と労働市場で競うようになったこと。(シンガポール・知的・精神・発達)

・デジタルの仕組みを介して顧客の注文を処理する方法を学ぶ必要があるなど、通常のプロアサービスとは違った業務の変化に発達障害者が適応できないこと。(シンガポール・知的・精神・発達)

・清掃会社がこれまでの清掃方法から最新技術を導入した清掃方法に変更していった際、新しいやり方についていけない発達障害者が離職を余儀なくされた例もあります。(シンガポール・知的・精神・発達)

・インターネットが使えない農村部に住む障害者は、財政そしてオンライン利用に欠かせない技術の制約があり、必要な教育を受けることができませんでした。(ネパール・肢体)

・ネパールのインターネットはもともと高速通信とは言えませんでした。(ネパール・肢体)

・新型コロナの流行により、労働も教育もオンラインで行うようになりましたが、ネットワークの接続不良に直面する人が多く、本来の仕事や勉強を効率的にこなすことができませんでした。(ネパール・肢体)

・また、労働や教育におけるオンラインの仕組みの導入は皆初めてのことで、事前に研修もなく、適応するのに時間がかかりました。オンラインの仕組みは無料ではないことが多く、費用対効果を考えると、誰もが利用できるものではありませんでした。(ネパール・肢体)

★ロックダウン時以外には職場や教育機関を利用できること。(バングラディッシュ・肢体)

★生産性やアクセシビリティを高めるのにテクノロジーは役立つ一方で、発達障害者にとっては障壁や排除の仕組みとなっている面があります。技術開発者が、発達障害者のニーズを取り入れた形でアクセシビリティ機能を作れば、この問題は解決できるのかもしれませんが。特にユーザーの認知能力を必要とする手順の簡略化に焦点を当ててもらいたいものです。例えば、Zoom や Google の「簡易版」を開発し、発達障害者だけでなく、幼児や高齢者、識字能力の低い方やデジタルに精通していない人でも、学校や職場で簡単に使えるようになります。こうした手順や表示を簡素化することはできないでしょうか。（シンガポール・知的・精神・発達）

★もうひとつのアイデアは、対面時に使用する合図や促しをオンラインでも使えるようにすることです。例えば、先生のパソコンに手袋が装着されているとします。先生はこの手袋に手を入れて、紙を指差したり、身振り手振りをしたりします。生徒の側にも、先生の手袋をはめた手の動きを正確に表現する手の模型のようなものがあります。画面上の指示にうまく反応できない生徒には特に有効でしょう。（シンガポール・知的・精神・発達）

（6） 1－2 セキュリティ（共通）

・アプリの中にはセキュリティが確保されておらず、心配して動画リンクの使用をためらうこと。（インド・知的・精神・発達）

（6） 2 仕事

（6） 2－1 仕事（共通）

○まだ給料がもらえていること。（ラオス・発達《自閉》）

★給与支払いが継続されること。（ラオス・発達《自閉》）

★障害のない求職者やオンライン上の事業者を念頭に、障害者がどのように労働市場で競争優位性を高めることができるのか、何から始めどうすればよいかを知る方法が提示されること。（フィリピン・視覚）

★最低限必要な家賃と基本的な生活需要のため、月 200 米ドルの手当を受けること（バングラディッシュ・肢体）

★車椅子利用を含む身体障害者が損失を出した場合、政府が補償すること。（バングラディッシュ・肢体）

★医療サービスを確実に受けられること。（バングラディッシュ・肢体）

★快適で安全な交通手段が利用できること。（バングラディッシュ・肢体）

★車椅子利用を含む身体障害者が損失を出した場合、政府が補償すること。（バングラディッシュ・肢体）

★医療サービスを確実に受けられること。（バングラディッシュ・肢体）

★快適で安全な交通手段が利用できること。（バングラディッシュ・肢体）

★ルールが厳格に実施され、当局が監視していること。（バングラディッシュ・肢体）

（6） 2－2 仕事の状況（オフライン）

・職場に行けないこと。（ベトナム・肢体）

・BPKS の調査によると、障害者が家計を支える 200 家族のうち、最も収入を得ていたのは障害者自身でした。このうち、91%は新型コロナの影響で収入を得ることができなくなりました。（バングラディッシュ・肢体）

・新型コロナの流行以前、200 家族のうち 23%が日雇い、19%が小規模の自営業、15%が農民、9%が主婦、11%が無職・学生、23%がその他の職業（小規模の起業家一族、木材販売業、喫茶店など）で、従業員はわずか 3%でした。現在どうやって生き抜いていくか苦慮しているのが、このような障害者家族です。

いわゆる就労機会は増えておらず、資金を失ったため、以前のような仕事ができるのは 20%に満たないと考えます。(バングラディッシュ・肢体)

(6) 2-3 仕事の状況(オンライン)

・しばらくの間職場が閉鎖され、私は在宅ワークをすることになりました。インターネットが遅かったり、停電になることが一番不便でした。また、労働者や学生が常にインターネットにアクセスできなかったり、自宅にパソコンがない人もいて、より不便な思いをしたでしょう。(パキスタン・聴覚)

・対面による環境をそのまま遠隔に変換するのが難しいこと。(インド・知的・精神・発達)

・2021年8月に第2波が来て以来、すべて在宅ワークの形となりました。在宅勤務にはメリットもありますが、私のような公務員にとっては、困難で不便なこともあります。例えば、特定情報へのアクセスです。職場でのみ利用できるようになっていました。そのため、短時間で報告書を作成できなかったり関連業務が滞ることがあり、職場に影響してしまう可能性があります。(ブルネイ・視覚)

・在宅勤務やホームスクーリングなどの制度や設備が十分に整備されていないこと。(マレーシア・視覚)

・従業員を解雇したり、スタッフ数を削減した会社・雇い主。在宅ワーク。オンライン学習はいいが、インターネット WIFI 環境および機器(パソコン、ノートパソコン、スマートフォン)が常に利用できるわけではないこと。友人と会う機会がなく、連絡しにくくなったこと。不安定なインターネット接続。目が疲れること。パソコンやノートパソコンを長時間集中して見ないといけないが、時にスピーカーやモニター画面、提示される画像等が小さいこと。光熱費(電気・水道など)が以前より高額になったこと。オンラインでコミュニケーションを取るのに手順が多すぎる。学習・研究に必要な情報利用のためタブレットを買い足さなければならないこと(字幕機能を使うため、1台だけでは足りない)。インターネット接続や使用機器への財政支援が限られていること。(タイ・聴覚)

・オンラインの仕組み(zoom やその他)へのアクセスが困難であること。(インド・知的・精神・発達)

○Zoom や Teams といったオンラインの仕組みによって、私たちの仕事もやりやすくなりました。打ち合わせや意見交換はすべてオンラインで行われています。局内の課・ユニットにおけるコミュニケーションの隙間を埋めるのに役立っています。対面でのコミュニケーションに代わるものではありませんが、新型コロナ禍において組織の目標達成に向けた生産的で代替しうる手段と言えます。(ブルネイ・視覚)

○自宅での最低限の設備とインターネット接続環境。(マレーシア・視覚)

○在宅勤務ができるようになったこと。(ベトナム・肢体)

○スマートフォン、パソコン(ノートパソコン含む)、スキャナー、ウェブカメラ、インターネット接続、スマホスタンドホルダー、ICT スキルやデジタルツール活用に関する知識。(カンボジア・肢体)

○以前インターネットとパソコンを使った在宅勤務の経験があったので、それは良かったです。やはり知識やノウハウがあるというのは大きいですね。自宅から仕事できましたが、自宅にインターネットやパソコンを持っていない人がいました。(パキスタン・聴覚)

○私自身は様々なオンラインの仕組みを利用して外の世界とつながり、最新のデータや情報を提供したり、国内外のさまざまな会議や研修に参加することができました。(ネパール・肢体)

○新型コロナ発生時には交通サービスの課題が取り上げられましたが、オンラインの仕組みによって障害者が感染に十分配慮にかつ外出することなく企画や研修に参加できるようになりました。(ネパール・肢体)

○学生時代の仲間と会えるオンラインツール。(フィリピン・視覚)

○オンラインを通じてタクシーを利用できたこと。(インドネシア・肢体)

★職場にある情報がすべてデジタル書式で利用できるようになれば、主要文書を簡単に見つけられるし、非常に有益でしょう。報告書の作成、次年度計画や見通しづくり、必要に応じて迅速かつ十分な情報に基づく決裁ができます。（ブルネイ・視覚）

★在宅勤務やホームスクーリングなどの制度や設備が十分に整備されること（マレーシア・視覚）

★学術・研究または仕事に関連することでアクセシビリティが向上すること。手話や字幕を利用した授業が増えること。プライバシーや勤務時間外にきちんと配慮してくれる同僚がいること。交通渋滞などの通勤・移動を心配しなくて済むこと。（タイ・聴覚）

★労働については、快適なインターネット環境と安定した電力供給があればと思います。太陽電池には可能性があります。5Gが広がれば、在宅勤務がもっと普及するでしょう。（パキスタン・聴覚）

★新型コロナの感染拡大により、労働や教育に関するさまざまなオンラインの仕組みが生まれました。こうしたオンラインの仕組みの普及によって、感染拡大の状況下であっても労働や学習の機会を確保できましたが、同時に新しい課題も出てきました。（ネパール・肢体）

★今回広がったオンラインの仕組みはこれまでなかったもので、特に障害者が効果的に利用できているとは言い難いです。フル活用するためには何らかの支払いや購読が必要とされており、費用対効果に優れているとは言えません。障害者から見れば、労働や学習に使用するオンラインの仕組みを補助する政府による支援があったのなら、非常によかったのと思います。（ネパール・肢体）

（6）3 勉学

（6）3-1 勉学（共通）

・学校が閉鎖されてしまったこと。（ラオス・発達《自閉》）

○ある特別支援学校で、発達障害のある生徒の学習ニーズに対応したインタラクティブなゲームやクイズを制作することに成功しました。彼らとそのゲームやクイズに興味を持ち、同時に教育に役立つことがわかりました。発達障害のある生徒と家族・介助者双方にとって有用なことです。（シンガポール・知的・精神・発達）

○ロックダウンの間、本当に役に立ったサービスは、発達障害のある学生を対象にしたケアセンターと、リスクの高い障害学生を受け入れ続けた特別支援学校です。（高いリスクとは、しばしば身体的に暴力的な行動を取ったり、家にいると家族または自身に危害が及ぶような発達障害のある子どもを指します。また、両親が共働きであったり、片親で子供の面倒を見ることができなかつたり、家庭内暴力があるなど、ロックダウン中に効果的に子供の面倒を見ることができない家庭も高リスクに含まれます。）（シンガポール・知的・精神・発達）

○ロックダウン中も発達障害児を対象にした特別支援学校や障害学生向けケアセンターは開校していますが、ここには統合教育を提供している一般学校も含まれます。これはシンガポールの国策です。何らかのリスクや家庭で十分にケアされない可能性があるすべての子どもたちにとって重要な命綱でした。新型コロナ感染以前と同様、これまで利用してきた学校や放課後ケアに通っています。（シンガポール・知的・精神・発達）

○新型コロナの発生時、募金や寛大で善意ある人たちによって、影響を受けた家族のために資金が集まりました。障害のある生徒たちが教育を受けられるよう、インターネットやデジタル機器を提供してくれました。継続した支援とオンラインでの意見交換を繰り返すことで、教員は遠隔であっても同じ成果が得られるような教育プログラムを見出しました。ここが私たちにとって大きな一歩となりました。（インド・知的・精神・発達）

○新型コロナによるロックダウンがもたらした副産物は、親御さんがエンパワーされ、家族関係に変化が生じたことです。遠隔教育が広がることで、障害のある生徒が家族の一員としてこれまで以上に認知されるようになりました。家族は教員に開放的になり、障害のある自分たちの子どもの課題と一緒に取り組んだりサポートするようになり、子どもの成長をより包括的に考えるようになりました。私たちの教員も、家族の時間に合わせて、お互いに都合の良い時間に遠隔教育の場を設定することで、やりくりするようにしています。適切なセキュリティ対策を施した上で、各学校の実態に沿ったオンライン授業を展開するための手法を提供する企業も増えました。（インド・知的・精神・発達）

○貧困家庭の16歳までの障害児・生徒のうち、少なくとも100人以上がBPKSから2ヵ月間の栄養サポートを受けることができました。また、こうした障害児・生徒のいる家庭を対象に楽しい外出機会を50回ほど手配しました。彼らは2020年10月から2021年3月まで、新型コロナ流行時に自宅からBPKSの建物までに来るように促しました。各回4家族ずつ、いろいろな障害を持つ生徒がBPKSにやってきて、スポーツ、会話、芸術活動、新型コロナについての質疑、十分な食事の提供を行う活動を行いました。貧困家庭の障害者100人は、2万バングラデシュタカ（約235米ドル）の資金援助を受けて、小規模事業を再開させ、家族とともにやりくりできるようになりました。例えば、障害のあるナズマさんは寡婦ですが、現在は小規模事業で幸せに暮らしています。（バングラディッシュ・肢体）

★対面とオンラインの両方に対応できる人材を確保することが大切です。今までと同様に対面で生徒と一緒に学ぶことができます。一方で、新型コロナのような混乱時には、同じ教員が在宅で教育機会を提供したり、オンラインで授業を行うこともできるでしょう。（インド・知的・精神・発達）

★教員は障害のある学生と一緒に学習する準備はできているものの、新型コロナ後も親御さん方が教師と同じ役割を果たせるよう、教員は保護者向け研修を行えるようになること。（インド・知的・精神・発達）

★障害者の完全参加と平等を実現するアクセシブルな教育を障害者は歓迎します。障害者にとってインクルーシブなコミュニケーションや授業、教員の理解ある態度があれば、それは将来への希望につながるでしょう。コロナ禍でも平等が保障され、スティグマがないのなら、障害者は幸せを感じるでしょう。（アフガニスタン・肢体）

★車椅子利用を含む身体障害のある学生に就労・教育の代替手段が提供されること。（バングラディッシュ・肢体）

（6）3-2 勉学の状況（オフライン）

- ・安全な保育サービスを受けられないこと。（フィリピン・視覚）
- ・公共交通機関の利用が限られたこと。（インドネシア・肢体）
- ・障害児が学校に来て、教室やトイレのアクセスが悪く、不便な状況となっています。（アフガニスタン・肢体）

（6）3-3 勉学の状況（アクセシビリティ）

- ・視覚障害児や聴覚障害児が学校に来ているのに、聴覚障害のある学生が教員と手話で話したり、視覚障害のある学生が点字でやり取りするなど障害に配慮するなど、障害児のインクルージョン（包摂）を提供する仕組みは整っていません。（アフガニスタン・肢体）

(6) 3-4 勉学の状況（オンライン）

- ・教育について、発達障害者にとってオンライン授業への移行は、以下の理由で大きな不便を強いることになりました。（シンガポール・知的・精神・発達）
 - ・デジタル識字率が低く、オンライン授業に1人ではアクセスできないこと。（シンガポール・知的・精神・発達）
 - ・自宅に手頃なノートパソコンと安定したWIFIインターネット接続がないこと。（シンガポール・知的・精神・発達）
 - ・画面切り替えの方法がわからないこと。（シンガポール・知的・精神・発達）
 - ・チャット機能の利用や、声を出すこと、投票する方法がわからないこと。（シンガポール・知的・精神・発達）
 - ・共有カレンダー、電子メール、共有ドキュメントなどの補助アプリの使い方がわからない。（シンガポール・知的・精神・発達）
 - ・通常教室で教員が行うような直接の合図や促しができないこと。（シンガポール・知的・精神・発達）
 - ・教員が介入する際の反応が遅いこと。（シンガポール・知的・精神・発達）
 - ・保護者にサポートしてもらいつつ授業を実施しますが、保護者に時間や熱意、スキルがない場合があること。（シンガポール・知的・精神・発達）
 - ・上記はすべて、発達障害のある子どもと家族のストレスにつながり、その結果、突然怒り出す機会が増えること。（シンガポール・知的・精神・発達）
 - ・1対1による構造化された教育方法を必要とする障害児に対し、対面で立ち会うことができないこと。（インド・知的・精神・発達）
 - ・これまで教員は障害児と対面で接しながら教育を提供してきたため、オンラインによる保護者向け研修に関する参考資料がなかったこと。（インド・知的・精神・発達）
 - ・バングラデシュでは、2021年8月まで学校や大学などのすべての教育機関が閉鎖されました。この間、障がいのある学生の多くは、新型コロナの流行状況下で生活を拘束され、厳しい規則のもとで自宅に留まることになり、大変つらい時間を過ごしました。ただ時間を過ごし、考えられないほど彼らは精神的に苦しみ、落ち込みました。（バングラディッシュ・肢体）
 - ・貧しい家庭の障害児の場合、十分な食事がなく栄養不足となり、追い込まれました。（バングラディッシュ・肢体）
 - ・カンボジアでは、2020年10月から現在まで、対面での学校教育が遠隔教育に置き換わっています。学齢期の児童や学生の学びと福利厚生に直接的な影響を与えています。ほとんどの家庭がパソコンを所有しておらず、親御さんのICTスキルも限定的です。農村部の家庭ですら、スマホでFacebookを使用しています。学校の教職員は、遠隔学習をサポートすべくするためにICTスキルで適応する上で直面している、それは継続的な学習と学習成果の非効率的な配信がかなりよく、教育の質のために制限されていないことを示した。オンライントレーニングやワークショップ、セミナーは最善の方法ですが、私たちは違和感や不便さを感じています。（カンボジア・肢体）
 - ・障害者がいる家庭の生計は新型コロナの影響を受けていることが多く、学習に必要な技術やアプリを利用できなかったり、通信量を確保できないこと。（インド・知的・精神・発達）
 - ・保護者の多くはオンラインの仕組みに精通しておらず、教員が障害児への遠隔で教育できるように環境を整えるのに時間がかかったこと。（インド・知的・精神・発達）
- Zoom や LINE アプリ/自宅で学習・研究できるようになったこと/在宅勤務で日付の入れ替え/勤務時間の短縮や時間の融通が利くようになったこと/テレビ会議を録画した後からそれを見ることで、業務や学びの振り返りができること。（タイ・聴覚）

○感染拡大している間も、労働と教育は非常に重要な分野でした。インターネットを通じた様々なオンラインの仕組みが利用できたため、労働と教育の両分野に大きな影響はありませんでした。(ネパール・肢体)

★オンライン学習を効果的に実施するため、教員や研修実施者の ICT 技術やデジタル知識を強化する取り組み。(カンボジア・肢体)

★教育においては、障害に優しく利用しやすい教材やコミュニケーションが必須です。そうでなければ、聴覚障害者はオンライン教育に障害のない人と等しくアクセスできません。(パキスタン・聴覚)

★インドの都市部と農村部のデジタル格差を解消され、教育サービス、組織強化、親のエンパワメントなど、誰もが等しく機会を得られるのであれば、それは私たちにとって幸せなことです。そのためには、新型コロナ後あるいは感染状況が落ち着いている間に、啓発していくことが重要です。現在のような困難な時期だからこそ、より多くの人々に働きかけ、障害者の在宅学習について社会が理解し共感できるように促していくことが求められます。(インド・知的・精神・発達)

(6) 3-5 勉学のアクセシビリティ (オンライン)

・新型コロナの発生時、学校は閉鎖されました。長い間待ち続けた後、オンラインによる授業が開始されました。私は今学校で勉強しているわけではありませんが、過去の経験から、オンライン通信教育で使用する教材は聴覚障害者にとって利用しやすいものとは言えないことを知っています。実はあるオンラインのコースに登録したことがあるのですが、後で教材が利用しやすく障害に優しいものではないこと、ビデオ授業にリアルタイムの字幕や手話通訳が添えられていないに気づきました。(パキスタン・聴覚)

(6) 4 まとめ

ここでは、仕事・勉強に特化した事項を記載する。■印は、改善と共に標準化の候補を示している。

【デジタル格差の解消】

■仕事・勉強に共通して、オンラインで仕事・勉強ができるためのAD配慮事項の標準化

- ・オンラインの環境整備。
- ・オンラインで使用するソフト等の使い方の各種サポート。

(7) 情報

(7) 1 全般

・情報が多すぎることがストレス。(ラオス・発達《自閉》)

○それほど深刻な問題にはなっていません。(ミャンマー・発達《自閉》)

(7) 2 テレビ・ラジオ

・外食、イベント参加、家庭訪問などに関する新しいルールや最新情報の配信は、主に全国ネットのテレビで行われてきました。こうした重要なお知らせは、さらにさまざまなソーシャルメディアやラジオで拡散されます。ニュースなど他の情報にも言えることですが、情報・コミュニケーションに基づく経済活動の枠組み内で発達障害者が常に配慮されているわけではありません。家族・介助者の責任となっているのが実際に、読み書きができない人やニュースについていけない人、介助しながらどのように新しいルールに対応したらよいか戸惑っている人もいます。(シンガポール・知的・精神・発達)

・バングラデシュの障害者の多くは、テレビ、ラジオ、コミュニティの人々による口コミ情報に頼っているのが現状です。教育を受ける権利が保障されていないため、自ら情報・コミュニケーションへアクセスできません。実際を知ることで行動を起こすためにも、情報・コミュニケーションは欠かせません。特に、精神的な不安から、読み書きをしたがらない障害のある学生に言えることです。(バングラディッシュ・肢体)

・情報・コミュニケーションへのアクセスは、私たち聴覚障害者にとって最も重要なことです。これが生活上の障壁の主な原因と言えます。テレビは日頃情報を得るのに最も早くかつ利用されるメディアです。しかし、私たち聴覚障害者にとっては、テレビからの情報をほとんど、あるいは全く利用することができません。(パキスタン・聴覚)

(7) 3 インターネット

・身体障害を含む多くの障害者が教育を受けていますが、情報・コミュニケーションの機会は限られています。インターネットにアクセスできず、コンピュータもなく、収入もないのです。(バングラディッシュ・肢体)

・コミュニティ内でインターネットを利用しようとしても、その地域が障害者が出歩く際に優しい環境にはなっておらず、課題になっています。新型コロナへの対応から障害者は取り残されています。(バングラディッシュ・肢体)

・パソコン機器やモバイルツールを入手し、利用できる人ばかりではありません。幸運にもこれらのガジェットを手に入れたとしても、安定したインターネット接続、通信ネットワークにアクセスできるとは限らないのです。(フィリピン・視覚)

・利用できる機器が限られていること、不安定なインターネット接続環境。(マレーシア・視覚)

・不安定なインターネット接続。(タイ・聴覚)

・オンライン番組の接続やLINE、その他メッセージアプリによるコミュニケーションが中断または固まること。(タイ・聴覚)

・私のような視覚障害者にとって、製品・サービスがすべてアクセス可能になっているのではない点に触れなければなりません。例えば、オンライン上で話者が展開しているパワーポイントのスライドやメモをリーダーを使って読むことは、この記事を書いている時点ではまだ不可能です。その結果、グループディスカッションやオンライン研修の参加はまだ難しいと感じています。(ブルネイ・視覚)

・特に障害を持つフィリピン、フィリピンの最貧困層に属する人、フィリピンの辺境地に住む人にとって、オンライン上の仕事やeコマース事業をどこにいてもできるというわけではありません。(フィリピン・視覚)

○safedistancing.sg というウェブは、さまざまなイベントや規制に関するルール変更を知るのに非常に効果的でした。(このウェブサイトは、シンガポール人が個人で立ち上げ、管理しています。)(シンガポール・知的・精神・発達)

○パソコン、スマートフォン、インターネット設備。(マレーシア・視覚)

○インターネット接続が良好なこと。(ミャンマー・発達《自閉》)

○インターネットへのアクセスやオンラインを利用した大切な人たちとコミュニケーションは、新型コロナ発生時の大きな支えとなりました。時間の経過とともに励まされたのは、障害のある生徒たちも親のサポートを受けながら効果的なコミュニケーション手段を見つけていったことです。親御さんたちは教育に携わる仲間としてコミュニケーションの重要性に目を向けるようになり、子供が Avaz アプリのようなオンラインメディアにアクセスできるようになりました。(インド・知的・精神・発達)

★手頃な価格のパソコン機器やモバイル。(フィリピン・視覚)

★安定したインターネット接続。(フィリピン・視覚)

★信頼できる通信ネットワーク。(フィリピン・視覚)

★高性能のハイテク機器と高速インターネット接続。(マレーシア・視覚)

★インターネットの利用コストを下げるべきです。(ミャンマー・発達《自閉》)

(7) 4 オンライン

○Zoom、Webex、Teams などのオンラインの仕組みが導入され、距離そのものはもはや障壁ではなくなりました。活動参加への障壁が取り除かれたという点で、障害者には大きな進展だったのではと思います。このようにメリットは明らかです。(ブルネイ・視覚)

○オンラインの仕組みに限界はありますが、こうしたサービスが利用できるようになってよかったです。何とか業務をこなすことができるようになりました。このようなオンラインの仕組みは数多くあり、幅広いユーザーに対応するために改善され続けているのもありがたいことです。(ブルネイ・視覚)

○新型コロナの流行により、社内外とのコミュニケーションや情報共有を工夫するようになりました。電子メールやソーシャルメディア、あるいはビデオ会議などの機能を駆使しています。情報・コミュニケーションには、口頭、書面あるいは電子形態のものがあります。テキスト、電子メール、電話、ビデオ会議、ボイスメール、手書きのメモなどです。私たちが活動対象にしている人たちの中には、直接会って話すことができない方がいます。その場合、Facebook Messenger や Telegram で作成したグループを通じて電話をかけたり、ボイスメールを送ったりすることが好ましい選択肢となりえます。こうしたやり取りにより、これまで対面のみだったときとは違った展開につながる可能性があります。(カンボジア・肢体)

(7) 5 人的

・障害者を対象とした教育活動といえば、当初障害のある子どもと効果的なコミュニケーションをすることができませんでした。学校で使われている障害児向けの代替コミュニケーション手段の利用に両親が協力的ではなかったのです。(インド・知的・精神・発達)

・マスクの着用により、従来のコミュニケーションが難しくなっています。発達障害の方の中には、声のイントネーションや顔の表情から、相手の伝えたいことをより良く理解しようとする人がいます。同じく、発達障害のある人とコミュニケーションをとる場合、口元や顔の表情から読み取ろうとする場合も多

いです。マスクの着用が義務化されたことで、誤解されることも多く、同じことを繰り返し伝える機会が増えました。（シンガポール・知的・精神・発達）

・話者がマスクをしているため、詳細情報を得難いこと。（タイ・聴覚）

○マスクを着けたままのコミュニケーションの難しさを克服するため、聴覚障害に配慮した「インクルーシブマスク」を発売している企業もあります。インクルーシブマスクには、口元が見えるように透明な部分があります。このマスクは、発達障害者のいる状況でも役立っています。（シンガポール・知的・精神・発達）

○インクルーシブマスクであったとしても、マスクの装着を嫌がる発達障害者はたくさんいます。特に、低年齢の特別支援学級の子どもたちや触覚障害者にとっては、マスクをつける感覚は非常に不快であり、苦痛にさえ感じるようです。そのような方々には、感覚障害に優しいマスクが有効です。以下のサイトで同様の製品を紹介しています。また、耳ではなく首に装着するタイプの製品もあります。（シンガポール・知的・精神・発達）

★草の根レベルの情報共有が、人が集まる公の場で行われること。（バングラディッシュ・肢体）

★新型コロナの感染拡大によりマスク着用が言語コミュニケーションの障壁になっている今、社会全体が非言語コミュニケーションのあり方を見直す良い機会になるかもしれません。例えば、スタッフと顧客の間でこれまで言語コミュニケーションに大きく依存してきた企業は、非接触型の非言語コミュニケーション手段を代替手段として提供してみてはどうでしょうか。そうした傾向が広がれば、代替的なコミュニケーション手段を必要とする発達障害者にとって、もっと社会に参加しやすくなる手段が増えることとなります。製品やサービスのあり方、あるいは情報の伝え方に人間らしさをなくすという意見があるかもしれませんが、一方で言葉が不自由な人や非言語コミュニケーション能力を持つ人を受け入れることにつながり、より人間らしいコミュニケーションという見方もできます。これまでの言語コミュニケーションを非言語コミュニケーションに置き換えようと言っているのではありません。私が提唱しているのは、わかりやすい非言語コミュニケーションの補助的な選択肢として、セットでこれまでの言語コミュニケーションが提供されることなのです。（シンガポール・知的・精神・発達）

（7）6 アクセシビリティ

・点字歩道もなく、信号も障害者に対応したものになっていません。なぜなら、この国は40年もの間、戦争紛争に明け暮れているからです。障害のあるすべての人にとって、アクセス可能な情報や技術を入手しきたい状況にあります。（アフガニスタン・肢体）

・コミュニケーションに関してです。公共サービスや緊急連絡先など、ほとんどが固定電話によって連絡できるようになっていて、テキスト利用はできません。そのため、私たち聴覚障害者は医療サービスその他必要な情報にアクセスすることができず、コミュニケーションを取ることができません。（パキスタン・聴覚）

・アフガニスタンでは、ウェブサイト、新聞、FacebookなどのICTは、視覚障害者、聴覚障害者にとって利用しやすいものではありません。（アフガニスタン・肢体）

★また、リアルタイムの政府広報やニュース番組による情報がユニバーサルデザインを考慮した形で提供されていたら、有用で効果的かつ役立つものになっていたでしょう。（ネパール・肢体）

(7) 7 アクセシビリティ 手話・筆談・字幕

- ・新型コロナの発生時、メディアは障害者に配慮した報道を行いませんでした。元々障害を考慮したものになっておらず、誰もが等しく必要な情報を得ることができませんでした。例えば、政府による情報であっても手話による提供はなく、聴覚障害者は関連情報を収集できませんでした。(ネパール・肢体)
- ・コミュニケーション上の障壁。公共放送の字幕が標準化されていないこと。特にソーシャルメディアも含めたニュースや方針発表に字幕がないこと。(タイ・聴覚)
- ・字幕や手話がないため、ろう者や難聴者が利用できない情報・メディア。(タイ・聴覚)
- ・あくまで1つの例です。私は歯医者予約していたのですが、前日の夜に政府の命令でサービス提供が中止となりました。私の予約がキャンセルされているかどうか確認するために病院に連絡しようとしたのですが、するとどうでしょう。固定電話番号しかなく、テキストを送ることができませんでした。唯一の選択肢は、私自身が直接歯医者を訪ね、予約がキャンセルされたかどうか確かめることでした。このような状況は本当に不便でした。(パキスタン・聴覚)
- ・メディアや新聞もまた障害の有無に関わらず利用しやすいとは言えず、手話や点字による情報提供はありません。(アフガニスタン・肢体)
- 手話通訳付きの情報。新型コロナの予防や感染時のケアに関する役立つ情報を作成してくれる有志/種類の増えたコミュニケーションのアプリ。(タイ・聴覚)
- オンエア直後ウェブ上ですぐに文字媒体となって公開されるニュース/当局が発出する信頼できる情報。(タイ・聴覚)
- ★字幕や手話通訳付きテレビ。(タイ・聴覚)
- ★ニュース放送直後 SNS を通じて配信される際、精度の高い字幕が付くこと。(タイ・聴覚)
- ★あらゆるサービス提供業者が、テキスト連絡専用の電話番号を有していればと切に願います。そうなれば、もっと自立していると実感できるのにと個人的には思っています。聴覚障害者はもっと自立して生活できるのです。(パキスタン・聴覚)
- 新型コロナの感染拡大は、情報・コミュニケーション面でも多くの課題をもたらしました。聴覚障害者に関しては、情報が手話を通じて提供されないという課題に直面しました。継続的なロビー活動とユニバーサルデザインの理解を広げる啓発活動を行った結果、政府は手話による情報提供を追加することになり、聴覚障害者が情報を入手できるようになりました。(ネパール・肢体)
- ★手話によって情報が共有されること。(バングラディッシュ・肢体)

(7) 8 信頼性

- ・情報の授受が遅れがちなこと。(タイ・聴覚)
- ・フェイクニュースがあること。(タイ・聴覚)
- ・新型コロナ以前・流行時・ポストコロナにおける予防やケアに関する政府からの情報・コミュニケーション。(タイ・聴覚)
- ・信頼がなくなるのではと思えるほどの政府からの誤情報。(タイ・聴覚)
- ・Facebook、Instagram、TikTok などのソーシャルメディアを通じて、何らかのトピックに関して送受信、反応や投稿、コメントする機会を幾度も行っています。いまだに違和感を覚えるのは、こうしたソーシャルメディアなどを通じて拡散されるフェイクニュースです。例えば、2020年には致死性のコロナウイルスが発生する中で誤報が増え、一部の日和見主義者が自分たちの利益のために偽情報を拡散しています。カンボジアでは政府が関係者と手を組んで、ソーシャルメディアなどによる誤報拡散に対処する手立てを講じています。(カンボジア・肢体)

・情報・コミュニケーションの不便さは、オンラインのニュースやソーシャルメディアを通じて拡散される圧倒的な情報量にあり、時には疑わしい情報に起因するものです。こうしたオンラインツールの使用にあたり、適切な規制の仕組みが存在しないことが大きな課題でした。（インド・知的・精神・発達）

・また、感染拡大に関する情報が錯綜し、どの情報が正しいか判断するのが難しい状況でした。その結果、不十分なまま情報選択に迫られ、市民社会に大きな混乱が生じてしまいました。（ネパール・肢体）

○信頼性の高い情報。（ラオス・発達《自閉》）

○政府からの情報。（ベトナム・肢体）

○テレビではなかなか情報を得られず、この点でオンライン新聞にアクセスできるのは良いことです。ただし、新聞はテレビに比べて配信が遅いのが難点です。どちらにせよ、情報アクセスには足かせがあるように感じます。（パキスタン・聴覚）

○緊急時に政府がマイクを使ってコミュニティ内でコミュニケーションを取ることがあり、それは前向きに捉えています。（バングラディッシュ・肢体）

○他にも、障害者の身体的、心理的および精神的なウェルビーイングのあり方に焦点を当てた多くの有益なプログラムがいろいろな団体やメディアによって実施され、総じて新型コロナに対処するのに役立ちました。（ネパール・肢体）

★新型コロナ対策について書かれたラオスによる視覚情報。（ラオス・発達《自閉》）

★新型コロナとワクチン接種に関する正確な情報。（ベトナム・肢体）

★新型コロナに関する正確な情報、特に障害者や高齢者などで外部のサポートが必要な人が必要とする新型コロナや関連課題に関する情報。（インド・知的・精神・発達）

★ラジオやテレビを通じてよりわかりやすい情報が共有されること。（バングラディッシュ・肢体）

★感染拡大に関する現状や予防策について、有用で有益な報道や特集・ドキュメンタリーがあったのなら、本当はありがたかったのですが、感染拡大についてもっと理解を深めることにつながっていったと思います。しかし、感染拡大の実際について、各メディアを通じて多くの情報が提供されましたが、事実と誤報が混在し、どれが正しいものか判断するのが困難でした。（ネパール・肢体）

（7） 9 サポート

○タイ技術評価サポートセンター（TTRS）によるアプリ。（タイ・聴覚）

○また、BPKSは他のNGOと新型コロナの状況について最新情報を共有しています。また、BPKSはコミュニティの障害当事者団体のリーダーに新型コロナに関する研修を行い、そのリーダーが自分のグループの障害者に関連情報を提供しています。スキル、知識、設備、資金力が不足しており他の情報源を利用できない障害者にとって、こうした仕組みが役立っています。（バングラディッシュ・肢体）

★質の高い支援ツールや移動技術。（フィリピン・視覚）

★障害者のニーズに応じて、無料で製品やサービスの使い方を学べる説明動画や研修を提供してくれれば、非常に有益だと思います。職場だけでなく在宅ワークの生産性も向上するだろうし、余暇のあり方も広がるでしょう。（ブルネイ・視覚）

★障害者が教育を受ける権利を享受すること。（バングラディッシュ・肢体）

（7） 10 その他

・アフガニスタン国際銀行（AIB）が唯一障害者に優しいサービスを提供していますが、それも首都カブールの本店のみに過ぎません。（アフガニスタン・肢体）

・極度の貧困の中で生活している障害者は、いくつかの課題を抱えています。アフガニスタンの障害者は、十分な食事、仕事、無料の医療、障害者に優しい住環境を得ることを考えています。（アフガニスタン・肢体）

・ホテルや銀行を利用したり、その他日常生活に必要なサービスを手に入れようとしても、障害者は無視されてしまい、配慮されることはほぼありません。例えば、銀行で現金を受け取ろうとしても、銀行内は多くの人で混み合っています。早いもの勝ちの仕組みになってしまい、障害者が優先的にサービスを受けることができません。障害者が置き去りにされたまま社会サービスが発展してる一面です。（アフガニスタン・肢体）

★ほとんどの障害者が戦争の犠牲者であり、手足の切断や他の身体障害を抱えて生活しています。もし義肢装具、車椅子、松葉杖、その他の補助器具を手に入れるのであれば、障害者は幸せや喜びを感じるでしょう。（アフガニスタン・肢体）

★ 障害者が収入機会を得る権利を享受すること。（バングラディッシュ・肢体）

★ 障害者が適切な技術を持っていること。（バングラディッシュ・肢体）

(7) 11 まとめ

ここでは、**情報**に特化した事項を下記に記載する。■印は改善案と共に標準化の候補案を示している。

【テレビ・ラジオ】

■テレビ・ラジオに関するAD配慮事項の標準化

- ・聴覚障害者は、テレビからの情報をほとんど、あるいは全く利用することができない。
- ・コンピュータもなく、収入もない。

【インターネット】

■全ての人々がインターネットを利用できるためのAD配慮事項の標準化

- ・手頃な価格のパソコン機器やモバイル。
- ・安定したインターネット接続。
- ・信頼できる通信ネットワーク。
- ・高性能のハイテク機器と高速インターネット接続。
- ・インターネットの利用コストを下げるべきです。
- ・情報の信頼性の確保。

【人的なサポート】

■障害のある人たちに必要な情報が、人的支援で提供できるAD配慮事項の標準化

- ・ネット環境を有しない人たちへの情報提供方法の検討。
- ・情報の信頼性の確保。

(8) 検査・ワクチン接種

(8) 1 取り巻く状況

・障害を持つ非正規労働者は、新型コロナの影響を最も受けたと言えます。マッサージ師、ストリートミュージシャン、売り子、屋台や地域商店など小規模ビジネスのオーナーや日雇い労働者などです。(フィリピン・視覚)

・ワクチン接種もまた、その手順に慣れていない発達障害者には非常に難しいがありました。2021年10月13日以降、ワクチン接種者のみがショッピングモール、飲食店、ホーカー、その他の個人商店に入れるようになり、ワクチン接種が強く奨励されるようになりました。それ以前は、ワクチン未接種者は飲食店で食事をすることはできませんでしたが、ショッピングモールへの入場やホーカーなど屋外での食事は可能でした。しかし、同日以降、ホーカーでの食事も禁止されました。持ち帰りのみが許可されたのです。(シンガポール・知的・精神・発達)

・障害者に関するデータはありませんが、障害者のうち接種を受けたのは5%以下と思います。「障害のない人が接種できていないのに、なぜ障害者は接種に来るのか」という声すら聞こえてきます。障害者は後回しでいいということであり、きちんと優先順位を配慮すべきです。(バングラディッシュ・肢体)

(8) 2 予約

・ワクチン予約は、スマートフォンやインターネットに接続できるデジタル機器を利用でき、説明書を読めるのが前提です。ここが多くの障害者にとって大きな課題であること。(インド・知的・精神・発達)

・ワクチン接種日がわかりにくい。(タイ・聴覚)

・予約なしでワクチンを接種できる場合があること。ワクチン接種日の延期について連絡のない会場があったこと。(タイ・聴覚)

・ワクチン接種はアプリでのみ予約できるため、慣れていない人には非常に困難だったこと。(インド・知的・精神・発達)

○私の場合、2回目のワクチン投与は9月でした。保健省によるワクチン接種プログラムでは、立場の弱い人やリスクのある人を優先しており、うまくいっています。(ブルネイ・視覚)

(8) 3 会場 アクセス

・新型コロナの検査キットとワクチン接種会場がアクセスしにくいこと。(マレーシア・視覚)

・指定場所へのアクセスが難しい障害者が配慮されないこと。(タイ・聴覚)

・ところで、ワクチン接種会場によっては、車椅子利用者が入れないところがあります。ただ、その場合には、担当職員が進んで中に入れるようサポートしてくれます。(カンボジア・肢体)

・バングラディッシュに生きる草の根の障害者にとって、アクセスがよく利用しやすい交通手段はほとんどありません。(バングラディッシュ・肢体)

・医療施設はアクセスがよいとは言えず、障害者に対応した出入口はなく、手すりもありません。(バングラディッシュ・肢体)

・感染拡大下の検査やワクチン接種は、障害者にとって不便なものとなりました。検査やワクチン接種を受ける上で、アクセシビリティが障害者にとって大きな問題でした。検査会場は非常に混雑しており、管理されておらず、アクセスしづらかったのです。初期段階では、検査できる場所自体が限られており、検査費用も非常に高価でした。(ネパール・肢体)

★アクセスしやすいワクチン接種会場。(マレーシア・視覚)

(8) 4 会場 接種

・不便なのは、患者の鼻腔に長い綿棒を挿入しなければならない検査手法です。発達障害者が 恐怖感から突然怒り出したり、不安発作を起こした検査センターがあるという報告もあります。(シンガポール・知的・精神・発達)

・ワクチン予約枠の確保には時間がかかり、空いている枠を探し続けなければならなかったこと。(インド・知的・精神・発達)

・混雑していて待ち時間が長いこと。(タイ・聴覚)

・予防接種を受ける際には、移動距離が配慮されないなど障害者が利用しやすい環境にはなく、列に並ぶにしても優先されませんでした。(ネパール・肢体)

○非営利団体の中は、ワクチンの集団接種を行う際、ランチやお菓子を提供するだけでなく、家族に正確な情報を提供するところがありました。(インド・知的・精神・発達)

(8) 5 会場 コミュニケーション

・マスクをしているため、意思疎通が難しいこと。(タイ・聴覚)

・ワクチン接種日時に合わせた手話通訳の手配が難しい地域があること。(タイ・聴覚)

・私もワクチン接種を受けました。1回目の接種では特に困難を感じることはありませんでした。しかし、2回目の接種に行ったとき、ひどい目に遭いました。ワクチン接種会場では、あまりに人が殺到しており、適切な案内もなく、入口には説明書きもありませんでした。係員にカードを見せて、3列のうちの1列に並びました。しばらくして、同じ列に並んでいた人が「この列は1回目の接種を受ける人のためのものだよ」と教えてくれました。そこで係員に1回目の接種証明書を見せたところ、ある列に並ぶように言われたので、「本当にこの列でいいのか」と尋ねると、「そうだ」と言われました。私は言われた列に並び、長い間待っていました。すると、別の係員がやってきて、スピーカーで何かアナウンスし始めました。私は中途失聴で耳が聞こえないため、「彼が言っていることが聞き取れない」と言いました。係員は私を列の外に押しやったので、私は仕方なく別の列に並びました。そうして最終的に私が手続きを進める机にたどり着いたとき、係員が私のカードを見て「あなたは別の建物に行ってください、ここでは違う種類のワクチン接種です」と言われました。私は2時間近くもある列に並ばされ、さらに別の列にも並ばされました。このことを訴えたところ、ようやく理解のある医師が私を助けてくれて、正しい場所に案内してくれました。ようやく正しい接種会場にたどり着き、2回目の接種を受けることができました。(パキスタン・聴覚)

・私はこの出来事から2つのことを学びました。1つは、入口で提供される情報は正確であり、かつアクセス可能で障害に配慮された形態で提供されるべきということです。2つ目の教訓は、人はいざというとき障害者をそこまで気につけないということです。世界ろう連盟(WFD)が国際ろう週間において「危機の時代の人権」というサブテーマを取り上げたのは、このような理由からだと思います。(パキスタン・聴覚)

★治療情報が入手できること。双方向にコミュニケーションできること。看護師が文字でコミュニケーションを取ってくれること。ろう者に対し、検査員やワクチン提供者が簡単な手話で伝えることができること。抗原検査を無料で実施すること。(タイ・聴覚)

(8) 6 会場 サポート

・PCR検査費用が高すぎること。(タイ・聴覚)

○障害者に配慮した形でワクチン接種が行われてよかったです。（ブルネイ・視覚）

○ワクチン接種が無料だったこと。（パキスタン・聴覚）

・メディアでさえ、接種の日時は政府によって管理されています。都市部の障害者の方がまだ可能性があります。どこであっても資金、交通手段、家族または誰かのサポートを得るのに苦労しています。（バングラディッシュ・肢体）

・ワクチン接種会場のスタッフは障害者に配慮しているとは言えません。（バングラディッシュ・肢体）

○製品やサービスではありませんが、この間発達障害者やその家族・介助者にとって最もありがたかったのは、発達障害者向けの集団ワクチン接種を企画・支援してきた特別支援学校の教職員による専門的なケアと心配りです。ワクチン接種を実施する医療関係者の誰もが発達障害者の対応に関する知見を持ち合わせているわけではありません。発達障害のある生徒たちが日頃から見慣れた人たちに囲まれた環境で、それぞれが理解しやすい手順に沿ってワクチン接種を受けることができました。これは、特別支援学校の先生やスタッフの方々の、決して表には出てこない献身的な努力と心遣いがあったからです。（シンガポール・知的・精神・発達）

○感染リスクの高い地域では新型コロナ検査を行えるサービスが積極的に提供されるようになったこと。無料で検査やワクチン接種を受けられる障害者がいること。ワクチン接種を2回受けられること。予め指定された時間にワクチン接種できること。（タイ・聴覚）

○困難に直面した人を率先して支援する人たちにより、より厳しい事情にある人たちワクチン接種枠が確保されました。（インド・知的・精神・発達）

○障害関係のNGO連合は、障害者およびその家族を支援するため、ワクチン接種の予約や実施に関する課題を理解し、協力して集団接種を行いました。（インド・知的・精神・発達）

○障害者の実情に合わせて、手順に沿って確実に検査やワクチン接種が行われるようになりました。自閉症のある学生の多くは、こうした障害に理解のある仕組みのおかげでワクチン接種を受けることができました。（インド・知的・精神・発達）

○首都ダッカで設置されたワクチン接種会場でのサービスはよかったです。その接種会場では、リクエストに応じて障害者への支援が提供されました。私たちの啓発活動の成果として、政府も障害者に十分配慮するよう促すようになりました。（バングラディッシュ・肢体）

○ワクチン接種はまさに大きな課題でしたが、障害者当事者団体は地道に働きかけを行いました。こうして障害者への優先接種が認められるようになり、安心しました。なお、障害者のパーソナルアシスタントへのワクチン接種も提供されるようになりました。（ネパール・肢体）

★引き続き障害者に配慮した形で行われることを願います。（ブルネイ・視覚）

★ワクチン接種会場で視覚障害者をきちんと誘導してくれること。（マレーシア・視覚）

★ワクチン接種関連の支援。（ベトナム・肢体）

★どの国立病院においても、新型コロナ検査を無料で受けられるようにすべきです。（カンボジア・肢体）

（8）7 会場 その他

・ワクチンを選べないこと。（タイ・聴覚）

・10月初旬、フン・セン首相は政府当局に対し、無症状の人への抗原検査の実施を中止するよう指示しました。PCR検査によって陽性になった場合のみをカウントし、抗原検査による陽性事例は考慮しないようになりました。また、感染疑いがあっても病院の入院前に検査を行うよう要請され、これは休暇明けに病院に出入りする人についても同じです。首相による抗原検査中止の方針には、正直不便を感じていま

す。このままでは、各コミュニティに感染が広がってしまうのではと心配です。（ミャンマー・発達《自閉》）

- ・ワクチン接種プログラムと感染の検査場が、軍事政権によって意図的に停止されました。（ミャンマー・発達《自閉》）

- ・最も必要とされる時期にワクチンが不足していたこと。（インド・知的・精神・発達）

- ・ワクチン接種枠やワクチンそのものを手に入れるためにさらに金銭を要求されたこと。（インド・知的・精神・発達）

- ・ワクチンの名目で、粗悪な液体を注射された人がいたこと。（インド・知的・精神・発達）

- ・ワクチンをめぐり政治的な駆け引きで、RT-PCR 検査の結果を操作したり、時にはごまかす事例があったこと。（インド・知的・精神・発達）

- ・ワクチンの純度の問題で、私立病院が好んで利用されていること。（インド・知的・精神・発達）

- ・ワクチンにまつわるさまざまな風評被害があり、ワクチンの提供プロセスに遅れが出ていること。（インド・知的・精神・発達）

- ・ワクチン接種に躊躇する人に対し、政府が膨大な時間とエネルギーを費やしたこと。（インド・知的・精神・発達）

- ・検査やワクチン接種する保健・医療従事者が暴行をうけたこと。（インド・知的・精神・発達）

- ・新型コロナウイルスの大流行によって、さらなる課題に直面している障害者がたくさんいます。診療所から遠く離れた地方に住むアフガニスタンの障害のある女性を例に取れば、交通手段がないこと、道路は舗装されていないこと、診療所までの移動距離が長いことなど、保健サービスやワクチン接種を受ける上でどうしようもない障害となっています。（アフガニスタン・肢体）

- ・アフガニスタン政府は、特に農村部における障害者向け医療サービスの包括的な見直しをまだ行っておらず、支援活動やアクセス事情は改善されていません。主要都市に生きる障害者はワクチン接種を比較的受けやすいですが、農村部や遠隔地に暮らす障害者はワクチン接種の機会がありません。（アフガニスタン・肢体）

- ・アフガニスタンは、一定規模当たりの障害者数が世界最大級です。40 年以上にわたる戦争により、何百万人ものアフガニスタン人が手足の切断、視覚・聴覚障害、うつ病、不安神経症、心的外傷後ストレスなどを抱えるようになりました。ただでさえ人材不足のアフガニスタンの医療体制では、このような人々のニーズに応えることができていません。特に障害を持つ女性や少女は、何らかの援助を受ける可能性ははるかに低くなっています。アフガニスタンの現状では、障害者が喜ぶようなサービスがあるとはとても言えません。（アフガニスタン・肢体）

- ・新型コロナウイルスに関する検査の優先順位が低いのが障害者です。アクセスしやすく適切な医療やサービスを受けることができる施設がないため、障害者は苦勞しています。（バングラディッシュ・肢体）

- ・2020 年 9 月までの状況は特にひどかったです。ワクチン接種の開始が非常に遅く、政府は 2021 年 1 月 27 日からと発表しました。（バングラディッシュ・肢体）

- ・ワクチン接種についても、障害者はウイルス感染しやすいいにも関わらず、優先されたわけではありません。（ネパール・肢体）

- ・感染拡大はあらゆる人を追い込み、特に障害者は困難な状況に陥りました。検査とワクチン接種は、数多くの課題の 1 つです。初期段階では、検査を受けること自体なかなかできず、ワクチン接種が可能な場合でも、障害者は優先リストに含まれていませんでした。（ネパール・肢体）

○政府が無料でワクチン接種を迅速に行ったこと。陽性または陰性を見極めるために新型コロナウイルスの検査を行っていること。（カンボジア・肢体）

- ★利用可能な選択肢が多ければ多いほど、よりよい解決策につながります。品格があれば、すべてを把握できるようになります。合理的な判断をできるようになれば、自分にも他人にも害を与えないようになるかもしれません。（フィリピン・視覚）
- ★もっとワクチン接種を受けられるようになること。（ラオス・発達《自閉》）
- ★すでに述べたように、呼吸による検査や口腔粘膜細胞（頬の内側を綿棒でぬぐう）による検査のような、発達障害者が受けやすい検査手順が利用できるようになることが望まれます。シンガポールにはすでにそのような製品が開発され利用できるようになっていますが、精度はまだまだで主流になれるとは言えません。現時点ではまだ鼻咽頭ぬぐい液による検査方法が主流ですが、それを嫌がる発達障害者がいます。こうした発達障害者がいることに配慮した別の検査方法の普及が待たれます。（シンガポール・知的・精神・発達）
- ★利用しやすい新型コロナ検査キット。（マレーシア・視覚）
- ★ワクチン接種関連の支援。（ベトナム・肢体）
- ★ワクチン接種会場の入口に、障害者がアクセスできる情報案内所があること。そのような案内所があれば、障害者も正確な情報を得ることができ、走り回ったり、時間を無駄にせずに済みます。入口に情報案内所がなく、嫌な思いをしたことがあります。（パキスタン・聴覚）
- ★誰もが簡単にワクチンを入手できること。（インド・知的・精神・発達）
- ★すべての人が無料でワクチンを接種できること。（インド・知的・精神・発達）
- ★ワクチンが安定供給されること。（インド・知的・精神・発達）
- ★障害者が検査を受ける際に抱える課題を理解し共感すること（インド・知的・精神・発達）
- ★民間病院や代理店に任せきりでなく、政府が障害者に対するワクチン接種の旗振り役となること。（インド・知的・精神・発達）
- ★コロナ禍であっても障害者を含むすべての人にアクセスのよい環境が用意され、仕事、医療、社会サービス、公共交通機関などを簡単に利用でき、社会、地域、家族のあらゆるレベルで尊重され、人間社会への平等な完全参加ができて初めて、障害者が幸せを実感できるようになるでしょう。（アフガニスタン・肢体）
- ★障害者の現状、障害者に必要なサービスや支援に関する正確な情報が草の根レベルも含めて全体に伝わること。（バングラディッシュ・肢体）
- ★あらゆる新型コロナ関連活動が、他の市民と同じように障害者にも対応すること。（バングラディッシュ・肢体）
- ★手話を含む障害者がアクセス可能な形で情報が提供されること。（バングラディッシュ・肢体）
- ★ラジオやテレビを通じてよりわかりやすい情報が提供されること。（バングラディッシュ・肢体）
- ★在宅の重度障害者に必要な手立てが講じられること。（バングラディッシュ・肢体）
- ★新型コロナへの対応に関連するあらゆる場所に障害者がアクセスできること。（バングラディッシュ・肢体）
- ★新型コロナの発生時、検査やワクチン接種の関連分野で改善できる余地がありました。障害者が最優先だったのなら、より良かったのにとっています。（ネパール・肢体）
- ★また、検査が無料または低料金で行われ、検査会場が障害者にとってアクセスしやすいところであったのなら、障害者には好ましかっただろうと思います。（ネパール・肢体）
- ★ワクチン接種についても、当局が障害者を最初から優先していれば、より効果的な取り組みとなったでしょう。接種会場が障害者の居住地の近くにあたり、重度障害者のための在宅接種プログラムが用意されていればさらによかったのですが。（ネパール・肢体）

(8) 8 まとめ

ここでは、**検査・ワクチン接種**に特化した事項を下記に記載する。■印は、改善案と共に標準化の候補案を示している。

【予約】

■情報・予約方法のAD配慮事項の標準化

- ・インターネットの環境ではアクセシビリティへの配慮。
- ・インターネットの環境が、使用できない状況の時への配慮。

【会場】

■会場まで・会場内でのAD配慮事項の標準化

- ・インターネットの環境ではアクセシビリティへの配慮。
- ・インターネットの環境が、使用できない状況の時への配慮。

【人的なサポート】

■予約・会場まで・会場内での人的なサポートに関するAD配慮事項の標準化

- ・有効な声かけ・説明・誘導の実施。

(9) その他

(9) 1 製品・モノ 感染予防

・マスクをして見えない状態で口を覆っているのに、口元が読みにくいこと。(タイ・聴覚)

○自宅またはプノンペン自立生活センターの洗濯機を利用して、新型コロナ感染の予防策を遵守、徹底できたこと。(カンボジア・肢体)

○有益だった製品のひとつに、非接触決済があります。10年前あるいは5年前には、非接触型決済はそれほど一般的な手段ではありませんでした。新型コロナの流行により、より好ましい決済手段となりました。この支払い方法は、現金の管理に長けていない発達障害者にとっても有益です。唯一の懸念は、発達障害者がやみくもに代金を支払うのではなく、請求される金額に注意を払い、使い過ぎないように注意することです。(シンガポール・知的・精神・発達)

★ウイルスから身を守るという概念が理解できず、つい汚れた手で顔を触ってしまう発達障害者がいます。また、咳をしている人や体調の悪そうな人を避けるという意識もないため、ウイルス感染してしまうことがあります。そうした課題に取り組むため、以下の機能を普遍化・標準化することが望まれています。(シンガポール・知的・精神・発達)

★トイレのドアや鍵は非接触で利用できること。(シンガポール・知的・精神・発達)

★自動で洗浄・除菌できる便器。(シンガポール・知的・精神・発達)

★自動で洗浄・除菌できるテーブルや椅子。(シンガポール・知的・精神・発達)

★非接触のエレベーターのボタンやその他高技術を利用した表示。(シンガポール・知的・精神・発達)

★空気中のウイルスや細菌を常に中和できる強力な空気清浄機または除電器。(シンガポール・知的・精神・発達)

(9) 2 サービス・コト

(9) 2-1 オンライン会議等

○インターネット接続環境(インドネシア・肢体)

○オンラインコミュニケーションの広がり。(タイ・聴覚)

★オンライン相談(インドネシア・肢体)

★新型コロナの感染拡大時のみならず事後もオンライン相談の場が提供されるようであれば、新型コロナ感染で派生する様々な事情に対処できるでしょう。(ネパール・肢体)

(9) 2-2 医療機関

・通院時の制約。(インドネシア・肢体)

・これまでと同様のケアを受けることができず、体調面が悪化すること。(タイ・聴覚)

・新型コロナ感染者に酸素投与できていません。医療機関がそもそも少ないのです。医薬品はほとんど手に入らず、価格も高騰しています。人道支援に従事している人たちが軍隊によって身の危険にさらされています。感染拡大に関しては信頼性の低いデータが軍事政権から提供されています。(ミャンマー・発達《自閉》)

・新型コロナの発生時、障害者が他の病気になった場合でも、病院に行って医師に相談することすらできず、大変な不便を強いられました。(ネパール・肢体)

・検疫所は障害者にとって利用し難く、感染予防用の備品も提供されませんでした。関連した啓発活動もあまり行われませんでした。(ネパール・肢体)

★アクセスしやすい検疫所。（カンボジア・肢体）

（９）２－３ 感染予防

○感染拡大を防ぐために各自できることをして、私自身も安全確保のため、自宅で自粛するようにしています。（ブルネイ・視覚）

○一部の自治体では、重度障害者が自宅でワクチン接種を受けることができるようになりました。オンライン相談も行われるようになり、新型コロナの感染状況に対処するためのヒントが提供されました。（ネパール・肢体）

○非接触かつスムーズな買い物ができるスーパーマーケットも出てきました。レジに並ばなくても、商品を手に取り、スマホでバーコードを読み取り、支払いを済ませることができる形態です。ショッピングアプリの利用時に段階を踏まないといけないので、発達障害者がすぐに利用できないかもしれません。ただ、行列に並ぶことが困難な発達障害のある人と買い物に出かける家族・介助者にとって、非常に便利なものです。（シンガポール・知的・精神・発達）

★ソーシャルディスタンスの維持。（タイ・聴覚）

★身体感覚がない（麻痺している）障害者にワクチンを接種するとして、十分な説明、指導、啓発を行うこと。（バングラディッシュ・肢体）

（９）２－４ 美容

・美容クリニックが閉店となり、顔エステが利用できず、自力で何とかしなければならないこと。（タイ・聴覚）

・買い物、ヘアカット（ベトナム・肢体）

（９）２－５ 人的サポート

★サービスが現場で提供されること。（カンボジア・肢体）

（９）２－６ 各種支援

・政府補助金や新型コロナ支援プログラムに関する申請要件が複雑で、視覚障害者がアクセスしにくいこと。（マレーシア・視覚）

・また、支援物資の配布の際にも、障害者はそのようなプログラムがあることを知らされませんでした。さらには、配布場所が障害者にとって利用しやすい場所ではなかったため、支援物資を得ることができませんでした。（ネパール・肢体）

・政府は正確なデータを把握していなかったため、必要に応じた支援物資の配布は難航を極めました。今次の感染症拡大により、パーソナルアシスタントを派遣するセンターが機能せず、重度障害者の日常生活は非常に困難なものとなりました。（ネパール・肢体）

・国内には BPKS ほど関係者間の機微を捉え対応している組織はないでしょう。実際、障害者のニーズを把握し、新型コロナの予防と管理を行い、障害者とその家族の健康とウェルビーイング、経済に対する悪影響を減らそうと奮闘しています。（バングラディッシュ・肢体）

・整備された道路や車両がなく、距離があるために然るべき場所に行くことができない障害者にとって、真に必要なサービスを受ける状況にはなっていません。（バングラディッシュ・肢体）

・障害者は団体や組織に所属しているとは限らず、障害者手帳を持っていない場合、限られたサービスしか受けられませんでした。（ネパール・肢体）

- 現状にはほぼ満足しています。新型コロナ流行で起きた事態を改善するために行われている政府の対応や取り組みは素晴らしいです。（ブルネイ・視覚）
- 新型コロナの発生時、障害者当事者団体、地方自治体やNGOが、障害者を含む支援を必要とする人たちに小規模ながら支援物資を配布しました。（ネパール・肢体）
- 家族、親戚、友人、近所の人、職場の人たちの協力。（マレーシア・視覚）
- ★家畜の安全保障：食料品や必需品の確保。（カンボジア・肢体）
- ★障害者が十分な食料やその他不可欠な支援を受けられること。（バングラディッシュ・肢体）
- ★障害者が現金給付を受けること。（バングラディッシュ・肢体）
- ★障害者が小規模事業を再開するための資金援助を受けること。（バングラディッシュ・肢体）
- ★新型コロナ禍において、障害児と障害女性を優先した上で、障害者があらゆる公的サービスを受けられること。（バングラディッシュ・肢体）
- ★各障害者のニーズに合わせて支援物資の提供が行われること、例えば指定場所ではなく自宅で提供されていたのなら、より効果的で実りあるサポートになったでしょう。（ネパール・肢体）
- ★新型コロナの発生で失業した人の立場からすれば、次の労働機会を見つけることができるまで政府が社会保障を提供してくれれば、本当に助かるだろうと思います。（ネパール・肢体）
- ★新型コロナ流行に関する十分で正確な情報。困難な時期に経済的な負担を軽減するための財政支援。（マレーシア・視覚）
- ★音声のテキスト変換、音声の手話変換。（タイ・聴覚）
- ★新型コロナへの対応が障害者ニーズを包摂していること。（バングラディッシュ・肢体）
- ★政府が様々な政策を実行に移す前に、障害者に対する影響や新たな障壁とにならないか検討すること。（バングラディッシュ・肢体）
- ★自ら何らかの行動を起こす際に困難を抱える重度障害者にとって、パーソナルアシスタントは不可欠です。パーソナルアシスタントがもっと利用できていれば、とても助かっていただろうと思います。（ネパール・肢体）

（9）2-7 日常生活

- ・大きな困りごととなっているのが、新しい生活様式を維持した形で国際移動がどうなるかという点です。発達障害者にとって、日常の変化、身体の疲れ、時差ボケ、飛行機酔い、乗り物酔い、耳が詰まる、自由に動けない、狭い場所（飛行機）で予想外の出来事や体験をするなど、これまでも旅行は常に困難なものでした。新型コロナ禍で生活様式が変わり、これまで以上に困難なものになることは間違いないでしょう。そのため、発達障害者とその家族にとって、新しい、または以前にもまして困難になった課題にどのように向き合っていくのか、それらを明らかにする価値はあります。（シンガポール・知的・精神・発達）
- ・外出禁止令が出ているため、ろう者が深刻な状態になっても、深夜に医師を呼んだり、緊急対応を要請できないこと。（タイ・聴覚）
- ・日常生活のあり方が変化し、質の維持がより難しくなったこと。（タイ・聴覚）
- ・新型コロナの流行により、障害者の日常生活が制限されることは痛ましいことです。障害者の生活に対する新型コロナの影響を踏まえると、死亡率や罹患率といった健康上の脅威を軽減するまでには至っていません。（バングラディッシュ・肢体）
- ・この感染症が流行している間、家庭内の言い争いや暴力を振るわれた障害者もいます。（ネパール・肢体）

- ・新型コロナのために、失職する障害者は多く、政府もそのような人たちに十分な社会保障を提供したとは言えません。（ネパール・肢体）
- ・新型コロナの流行時に不便だったのは、クリーニング店、車両メンテナンスサービス、携帯電話ショップ、病院、歯科医院など。（カンボジア・肢体）
- ★十分な収入があるにこしたことはない。（カンボジア・肢体）

（９） ２－８ アンケート・調査

- 今回私の経験に基づきこの調査に詳しく回答することで、世界各地の障害者が直面している課題の解決につながる一助になればと願っています。（ブルネイ・視覚）
- 障害者当事者団体は、障害者の支援物資の受け取り状況、そして障害者間のワクチン接種の動向を調査しました。地方自治体と NGO の協力により、検疫所によっては障害者が利用しやすいように整備されました。（ネパール・肢体）

（９） ３ 研究・論文

- 以下のように私たちの事情に関する研究論文が掲載されました。（バングラディッシュ・肢体）
<https://oapub.org/soc/index.php/EJSSS/issue/view/84>（バングラディッシュ・肢体）
<https://oapub.org/soc/index.php/EJSSS/article/view/965>（バングラディッシュ・肢体）
<https://oapub.org/soc/index.php/EJSSS/article/view/965/1550>（バングラディッシュ・肢体）

5. 回答から抽出した標準化に関連する項目

今回の回答を元に、コロナ禍での新しい生活洋式に関して、改善が必要な「場面」、「機器等」、「情報」、「サービス」を下記に整理した。

- (1) 対象場面（店舗・ネット・宅配）
 - 1) リアル：店舗
 - ・小売り関連（百貨店、スーパー、コンビニ、小売り店、他）
 - ・食事関連（レストラン、食堂、宅配、他）
 - ・交通機関（空港・駅・停留所・他）
 - ・スポーツ施設（体育館、運動場、ジム、プール、他）
 - ・娯楽施設（映画、演劇、ゲーム、他）
 - ・イベント会場（展示会、スポーツ、音楽、美術、他）
 - ・職場
 - ・学校
 - ・ワクチン接種会場
 - ・住空間
 - 2) ネット：ネット販売、
 - ・オンラインショップ・通信販売・他
 - ・オンライン会議
- (2) 対象機器等（モノ）
 - 1) 感染予防に関する機器・製品
 - ・検温関連／公共・個人 体温計、パルスオキシメータ・他
 - ・消毒関連
 - ・換気関連
 - ・衛生用品（マスク等）
 - 2) 手を接触させて使う機器・製品
 - ・商品棚
 - ・公共トイレ
 - ・セルフレジ／コピー機／ATM
 - ・扉／ドア／取っ手／手すり
 - ・メニュー／タブレット
 - ・各種スイッチ
 - 3) コミュニケーション用機器等
 - ・タブレット
- (3) 対象情報
 - 1) 音声・音情報
 - 2) 文字情報
 - 3) 街頭情報（音声・他）
 - 4) 緊急情報
 - 5) 嗅覚情報
- (4) サービス(人的対応)
 - 1) 声かけ
 - 2) 説明
 - 3) 誘導

6. 新しい生活様式における製品・サービスに関する障害者・高齢者配慮指針（素案）

今回の回答を元に、コロナ禍での新しい生活様式に関して、高齢者・障害のある人への配慮事項を、規格の項目別に整理した。

6. 1 適用範囲

障害者・高齢者等が利用する場所 3-2 (1) における (2) 機器等 1) 2) 3)、(3) の情報 1) 2) 3) 4) 5)、及び (4) のサービス (人的対応) 1) 2) 3) を対象とします。

6. 2 一般原則

- 1) 感染予防のために使用する機器が、どこにあるか、障害者、高齢者がわかるようにしなければならない。
- 2) 感染予防のために行うルール（人と人との距離をとる等）は、障害者、高齢者も実行可能な方法にしなければならない。
- 3) 複数の者が触れる機器等に関しては、ウイルスが付着しないようにしなければならない。
- 4) 各種情報は、障害者、高齢者が理解できる方式で提供しなければならない。
- 5) 各種サービス（人的対応を含む）は、対象とする障害者・高齢者のニーズにあっていなければならない。
- 6) 感染蔓延により通常の方法で行うことが困難なために代替様式で行う場合（例：会議→オンライン会議）は、障害者・高齢者が利用できる様式で行わなければならない。

6. 3 要求事項

- 1) 感染予防に関する機器
 - i. 位置がわかるように、決まった場所に配置する。
 - ii. 場所がわかるように、台と機器のコントラストを付ける。
 - iii. 複数の方法で使用できるようにする。
 - iv. 結果を複数の方法で伝える（検温、パルスオキシメータ等）。
 - vi. 必要に応じて人的補助を行う。
 - vii. コミュニケーションが遮断されないようにする（マスク、仕切り等）。
- 2) 手を接触させて（触れて）使う機器・製品
 - i. 可能な範囲で接触部分を減らすことが望ましい。（表現要検討）
 - ii. 非接触での操作にした場合、操作部を見なくても操作できなければならない。
 - iii. 接触する機器を使用した後は、消毒をする（仕組みにする）。
 - iv. 操作した結果は、使用者がわかるフィードバックがある。
- 3) コミュニケーション用機器等
 - i. 感染対策をした結果、とりづらくなったコミュニケーションを補うことができる。
 - ii. 文字や図記号は、使用者が視認できる大きさ、フォントを選択できる。
 - iii. 結果が音や音声で出る場合は、その他の方法で知らせることができる。
- 4) 情報
 - i. 感染等に関する情報及び関連して必要な情報は、誰もが情報入手できるように、複数の方法で提供する。
 - ii. 複数の情報は、必要な情報すべてが対象となる。
- 5) サービス（人的対応を含む）
 - i. サービス提供者は、障害者・高齢者を理解する。（文書 要検討）
 - ii. サービス提供者は、障害の特性を理解したうえで、サービス対象者のことを理解し、対象者のニーズに合わせたサービスを提供する。
 - iii. サービス提供者は、感染予防に十分注意を払いながら行う。

7. 質問票

9つの項目について、1) 不便な点、2) 良かった点、3) 希望する点を聞く項目

1. Response (Shopping) 買い物

- 1) Product or Service that makes you feel inconvenient during the COVID-19 outbreak
- 2) Product or Service that makes you glad by having it during the COVID-19 outbreak
- 3) Product or Service that will make you happy if you have during the COVID-19 outbreak

2. Response (Eating Out) 外食

- 1) Product or Service that makes you feel inconvenient during the COVID-19 outbreak
- 2) Product or Service that makes you glad by having it during the COVID-19 outbreak
- 3) Product or Service that will make you happy if you have during the COVID-19 outbreak

3. Response (Public Transportation) 公共交通機関

- 1) Product or Service that makes you feel inconvenient during the COVID-19 outbreak
- 2) Product or Service that makes you glad by having it during the COVID-19 outbreak
- 3) Product or Service that will make you happy if you have during the COVID-19 outbreak

4. Response (Leisure and Sport) 余暇活動とスポーツ

- 1) Product or Service that makes you feel inconvenient during the COVID-19 outbreak
- 2) Product or Service that makes you glad by having it during the COVID-19 outbreak
- 3) Product or Service that will make you happy if you have during the COVID-19 outbreak

5. Response (Event) イベント

- 1) Product or Service that makes you feel inconvenient during the COVID-19 outbreak
- 2) Product or Service that makes you glad by having it during the COVID-19 outbreak
- 3) Product or Service that will make you happy if you have during the COVID-19 outbreak

6. Response (Work and Education) 仕事と勉強

- 1) Product or Service that makes you feel inconvenient during the COVID-19 outbreak
- 2) Product or Service that makes you glad by having it during the COVID-19 outbreak
- 3) Product or Service that will make you happy if you have during the COVID-19 outbreak

7. Response (Information and Communication) 情報コミュニケーション

- 1) Product or Service that makes you feel inconvenient during the COVID-19 outbreak
- 2) Product or Service that makes you glad by having it during the COVID-19 outbreak
- 3) Product or Service that will make you happy if you have during the COVID-19 outbreak

8. Response (COVID-19 Test and Vaccination) ワクチン検査と接種

- 1) Product or Service that makes you feel inconvenient during the COVID-19 outbreak
- 2) Product or Service that makes you glad by having it during the COVID-19 outbreak
- 3) Product or Service that will make you happy if you have during the COVID-19 outbreak

9. Response (Other Issues) その他

- 1) Product or Service that makes you feel inconvenient during the COVID-19 outbreak
- 2) Product or Service that makes you glad by having it during the COVID-19 outbreak
- 3) Product or Service that will make you happy if you have during the COVID-19 outbreak

■ 本件についてのお問合せ

『コロナ禍での新しい生活様式に関する不便さ・ニーズ等調査』

2022年3月

〒101-0064 東京都千代田区神田猿楽町 2-5-4

発行：公益財団法人共用品推進機構

電話：03-5280-0020／ファックス：03-5280-2373

この調査は、一般財団法人日本児童教育振興財団の助成事業で行いました。